

令和4年度

～聞いて語って未来をつくる～
武蔵野市第六期長期計画・調整計画
市民ワークショップ

報 告 書

（令和5年3月5日・12日開催）

令和5年5月

武蔵野市

目次

1	はじめに	1
2	実施概要	2
（１）	募集方法	2
（２）	応募者内訳	2
（３）	参加者内訳	2
（４）	実施結果	2
3	実施結果	3
ア．	開催概要	3
イ．	各グループ意見結果（３月５日実施分）	9
ウ．	各グループ意見結果（３月１２日実施分）	33
4	参加者アンケート	51
5	市民ファシリテーターについて	66
（１）	参画状況とその効果	66
（２）	運営スタッフ（市民ファシリテーター、記録係）アンケート結果	66
6	添付資料	72
（１）	案内チラシ	72
（２）	事前送付物	72
ア．	【３月５日_対面】結果通知書	72
イ．	【３月１２日_オンライン】結果通知書	72
ウ．	希望テーマ	73
（３）	当日配布物	73
ア．	自己紹介シート	73
イ．	武蔵野プレミアム詰め合わせセット	73
（４）	投影資料	74
ア．	第六期長期計画・調整計画	74
イ．	全体進行	74
ウ．	討議要綱に関する分野別課題	78
（５）	アンケート	82
ア．	参加者向け	82
イ．	運営メンバー向け	83

1 はじめに

市では、昭和 46 年に第一期基本構想・長期計画を策定して以来、現在まで、定期的に計画の調整、策定を行い、これらに基づいて計画的な市政運営を推進してきました。

長期計画は、市の目指すべき未来の姿を示し、それを実現するための政策を決める大切な計画です。計画期間は 10 年間ですが、20～30 年先を見通した長期的な視野に立ち、策定しています。

現在は、令和 2 年 4 月の第六期長期計画開始以降に生じたさまざまな社会情勢の変化に対応し、計画の実効性を保つため、令和 4 年度から 2 か年かけて、令和 6 年度～10 年度までの 5 年間を計画期間とする第六期長期計画・調整計画を策定しています。

策定にあたっては、第一期基本構想・長期計画策定以来の本市の特徴である、市民参加・議員参加・職員参加を中心とした「武蔵野市方式」を継承するとともに、市民ワークショップや公募市民会議、中高生世代向けワークショップのほか、市民委員による策定委員会を設置し、圏域別意見交換会や関係団体、市議会議員との意見交換、パブリックコメントなど様々な手法を用いて意見聴取を行っています。

今回は、第六期長期計画・調整計画策定にあたり、特に議論すべき課題や論点をまとめた「討議要綱」について広く市民の皆さまからご意見を伺うため、対面及びオンラインにて市民ワークショップを開催しました。対象は、令和 4 年 12 月 1 日時点で市内に住民登録のある 18 歳以上の方で、2,000 名を無作為で抽出し、参加者を募集しました。

3 月 5 日（日）武蔵野芸能劇場での市民ワークショップについては、定員（30 名程度）を超える申込み（64 名）をいただいたため、できるだけ多くの方にご参加いただけるよう会場やグループ人数の調整を行い、参加者を 42 名に決定しました。また、オンラインの市民ワークショップは、36 名の申込みがありました。

当日は、対面及びオンラインで合計 55 名の方にご参加いただき、討議要綱について議論いただきました。

また、市民ワークショップの運営は、「市民ファシリテーター*¹」が参加者である市民の目線に立って、全体進行及び各グループでの対話の進行を担いました。

この報告書は、第六期長期計画・調整計画策定委員会に送付され、今後の計画策定における参考資料とします。

令和 5 年 3 月
武蔵野市

*¹市民ファシリテーターは、市の事業「コミュニティ未来塾むさしの」やオンラインワークショップ講座の修了生の方にご協力いただいています。

2 実施概要

(1) 募集方法

市内に住民登録のある18歳以上の方から2,000名を無作為に抽出し、参加案内を送付しました。送付後は、1月15日号市報やSNSを活用し「市民ワークショップ開催」について周知しました。

(2) 応募者内訳

区分	人数	割合
男性	44名	44.0%
女性	56名	56.0%
合計	100名	100.0%

区分	人数	割合
10代	1名	1.0%
20代	3名	3.0%
30代	17名	17.0%
40代	20名	20.0%
50代	23名	23.0%
60代	15名	15.0%
70歳以上	21名	21.0%
全体	100名	100.0%

(3) 参加者内訳

区分	人数	割合
男性	23名	41.8%
女性	32名	58.2%
合計	55名	100.0%

区分	人数	割合
10代	1名	1.8%
20代	2名	3.9%
30代	11名	20.0%
40代	12名	21.8%
50代	16名	29.0%
60代	8名	14.5%
70歳以上	5名	9.0%
全体	55名	100.0%

(4) 実施結果

A 日程：令和5年3月5日（日）午後1時から5時まで

場 所：対面（武蔵野芸能劇場（武蔵野市中町1丁目15番10号））

参加者数：男性16名、女性15名、計31名（7グループ） 市民ファシリテーター7名

B 日程：令和5年3月12日（日）午後1時から5時まで

場 所：オンライン（Zoom）

参加者数：男性7名、女性17名、計24名（5グループ） 市民ファシリテーター8名

3 実施結果

ア. 開催概要

開催日時	令和5年3月5日（日）午後1時～5時	令和5年3月12日（土）午後1時～5時
会 場	対面（武蔵野芸能劇場）	オンライン（ZOOM）
参加者	31 名	24 名
運 営	市民ファシリテーター7名（グループファシリテーター7名（うち2名がメインファシリテーターを兼務）） 市職員 10 名、支援事業者 1 名	市民ファシリテーター8名（メインファシリテーター1名、グループファシリテーター7名） 市職員 10 名、支援事業者 2 名
内 容	（ア）はじめに メインファシリテーターの自己紹介を行った後、ワークショップの概要や参加にあたってのお願いを説明しました。 全体司会説明(対面) 全体司会説明(オンライン) ※当日投影・配布したスライドは、74～81 ページ参照	

(イ) 第六期長期計画・調整計画について

市職員から、現在取り組んでいる第六期長期計画・調整計画の策定プロセスやワークショップの目的について説明しました。



(ウ) グループワーク概要説明

メインファシリテーターより、グループワークの進め方やワークショップに参加する際のポイントについて説明しました。

(エ) グループワーク

Step 1 : 自己紹介

参加者3～5名、市民ファシリテーター1名のグループに分れて自己紹介を実施し、交流を図りました。



Step 2 : テーマについての説明と質疑応答

各グループで話し合うテーマ（分野）における課題や今後の取組み等について、市職員が説明し、質疑応答を行いました。



テーマ説明(3/5)



テーマ説明(3/12)

Step 3 : グループトーク

前半：市職員説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）

市職員からの説明を聞いて感じた、今後の武蔵野市に対する期待や不安、感想等を付箋に書きました。その後、グループ内で共有し、それぞれの項目を整理しながら、それらをより良くするために何ができるか話し合いました。

後半：市民の力で何ができるか等

前半で挙げられた意見や提案について、「市民の力」で何ができるか、そのために行政からどのような支援が必要かなどについて付箋に書き出し、共有、整理を行いました。

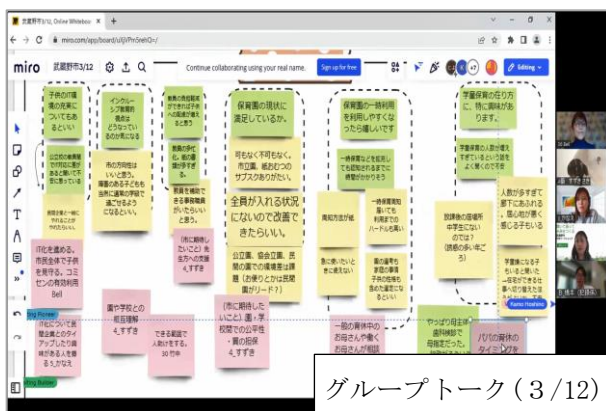
最後に、全体共有に向けて発表者を選び、内容の整理を行いました。



グループトーク (3 / 5)



グループトーク (3 / 5)



グループトーク (3 / 12)



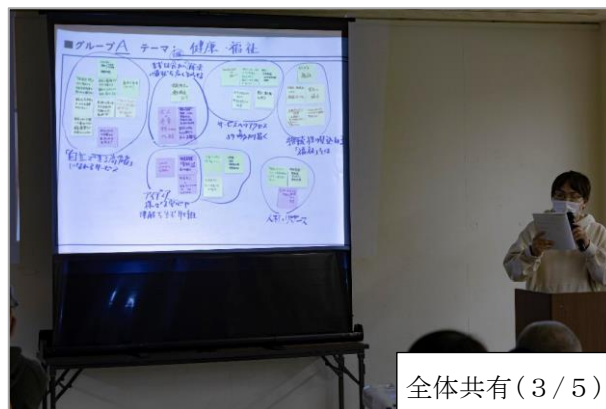
グループトーク (3 / 12)

(オ) 全体共有

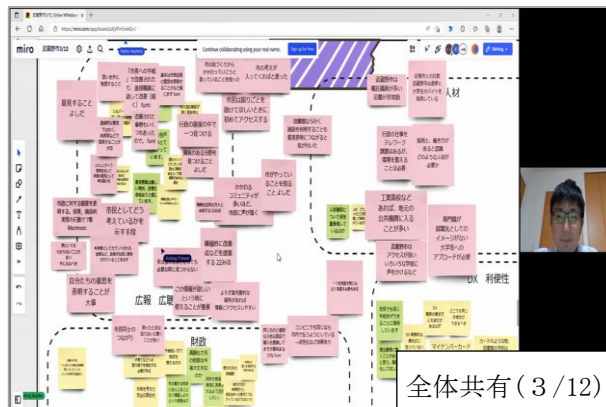
各グループで話し合った内容を全体で共有しました。



全体共有 (3/5)



全体共有 (3/5)



全体共有 (3/12)



全体共有 (3/12)

(カ) 本日の振り返り

ワークショップに参加して得た気づきや感想をグループ内で共有しました。



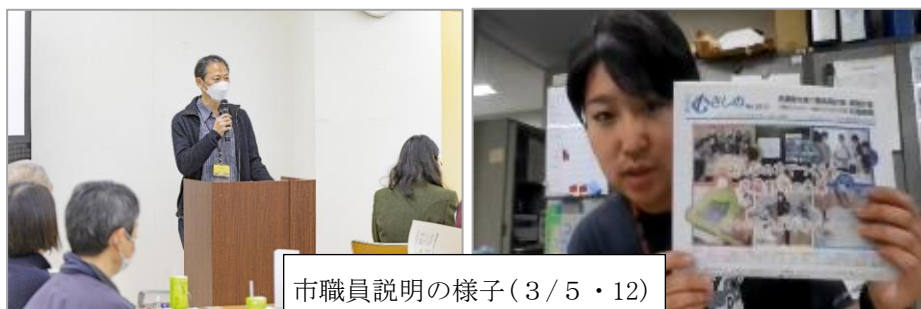
振り返りの様子(3/5)



振り返りの様子(3/12)

(キ) 市職員より連絡

今回のワークショップの内容の活用方法や、今後の計画策定スケジュールについて説明しました。



市職員説明の様子(3/5・12)

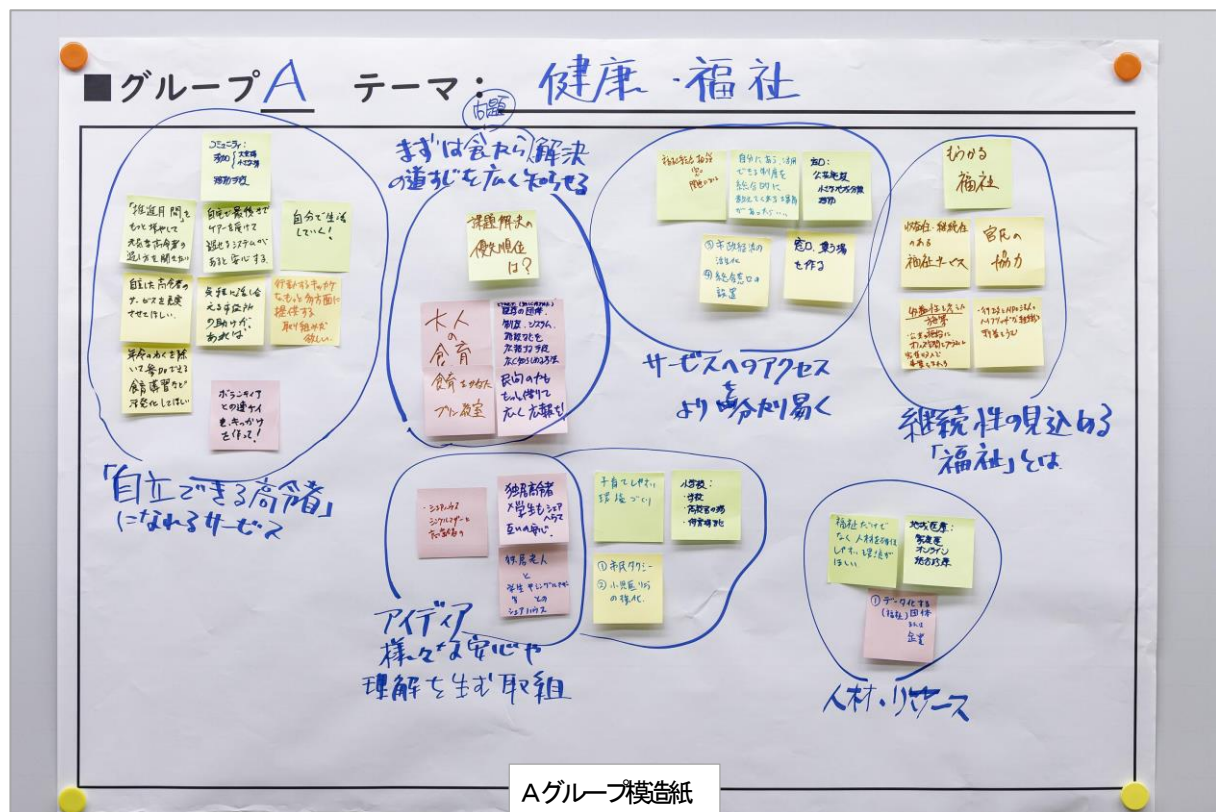
イ. 各グループ意見結果（3月5日実施分）

各グループでの自己紹介から発表までの議論をまとめています。参加者から出された意見（付箋）は、各基本施策にあてはめて整理しています。

3月5日（日）Aグループ テーマ：健康・福祉	
＜参加動機＞ ・会場から徒歩数分のところにスイーツショップを出店した。せっかくだったら地域に絡んでいきたいと思った。 ・市から手紙が来た。4月から仕事がなくなり、市で何かやれることに参加したいと思った。 ・吉祥寺に50年以上住んでいる。昔は活気があったので、それを取り戻すために何か出来ればと思った。 ・今まで政治や経済に無関心だったが、たまたま市から手紙が来て参加しませんかとお誘いをもらったので参加してみた。 ・ポストに手紙が入っていてよくわからないまま参加してみた。最近結婚したが、30年来住んでいる。 ・子どものころに恵まれない環境で育ち、社会的な問題の大きさを実感。また今は余裕のない社会環境になっている中で地方自治体から変えることに参加したいと思った。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	
・自分で生活していく ・気軽に近所と情報交換できる基盤があると良い ・自宅で最後までケアを受けて過ごせるシステムがあると安心 ・健康長寿のまち武蔵野推進月間をもっと増やし、元気な高齢者の過ごし方を直接聞ける機会を増やす ・町会がないため、助け合いがない ・食事は体の健康に繋がるため、課題解決の中でも最優先 ・武蔵野市の食育事業は知られていない ・自立した高齢者のサービスを充実させてほしい ・年齢問わず参加できる食育講習などの活	・ボランティアとの連携のきっかけを作る ・行政や窓口のことを知っている認定コーディネーターが増えていくと安心 ・食育を兼ねたプリン教室の開催 ・大人の食育 ・民間と連携し広く広報する

発化 ・ 行動するきっかけを多方面に提供する	
基本施策 3：安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	
・ 自分に合う、活用できる制度を総合的に教えてくれる場所 ・ 福祉総合相談窓口 ・ 公共施設や小さな地域分署への窓口設置 ・ 市民タクシー ・ 小児医療の強化	・ 窓口や集う場所を作る ・ 市内経済の活性化 ・ 総合窓口の設置
基本施策 4：福祉人材の確保と育成に向けた取組み	
・ 市として人材確保を応援する環境が必要 ・ 子育てしやすい環境づくり ・ スタッフの対応のレベルの一定化	・ シングルマザーや高齢者向けのシェアハウス ・ 独居高齢者と大学生のシェアハウス。互いの安心を得る ・ 市民が持つスキルや意見を可視化できるデータバンク
基本施策 5：新しい福祉サービスの整備	
・ 儲かる福祉 ・ 官民の協力 ・ 行政とNPO法人のハイブリットな組織で利益を生む ・ 収益性を考えた施策	
ま と め	・ 行政がどのようなサービスを実施しているのか、またそれらの情報をどのように手に入れればよいのかわからない点が問題と感じている。自立した高齢者でいるためには、このような情報と対象者との接点を作ることが必要ではないか。 ・ 高齢者が地域のコミュニティやボランティア等に参加できるきっかけ作りができるとよいと感じた。そのためには、継続性のある福祉を目指す必要があり、行政とNPO法人による合同事業の実施や公共施設の利活用、人材活用や人材教育が必要と考えた。そのうえで、各サービスへのアクセスを簡潔にするため、総合窓口を設置するとよいと議論があった。 ・ 健康には「食」が重要であり、「大人のプリン教室」のような食育事業を実施できるとよいと議論があった。

	・独居高齢者の孤立化については、学生やシングルマザーなどとのシェアハウスができる環境整備を行うことで、問題解決につながると考えた。
本日の感想	・ここまでの長丁場は経験してなかった。長いなとは思ったが、あまり深く考えたことなかったなので、いい経験になった。 ・大変楽しかった。みんなの意識をどう吸い上げて市が運営していくのが課題。 ・テーマがいっぱいあって難しい問題もあったが、いろんな意見を持っている人と話ができてよかった。 ・今まで全然無関心で、これがファーストステップだったが、これを機に自立した市民になれるかが私自身の課題と感じた。 ・よく考えてみたら、かなり税金って払っている。でも受けられる恩恵もある。その恩恵を受けるためにも自分から動いていく必要があると感じた。 ・世田谷区に住んでいた時は市報のポスティングがなかった。読む時間がないので、デジタルを活用して読んでもらえるような工夫をしてもらいたい。ここに集まっている人は社会課題に対する意識が高いと感じた。前半後半でテーマを分けるなど出来ればいいと感じた。また、武蔵野市の強みは子育てだと思う。教育熱心である。医療も整えてもらわないと、稼ごう・産もうとならない。子どもを産めよ増やせよとなっている中で、共働きで子どもを育てるのが不可能に近いと感じている。子どもが複数いる家庭に対して税率を下げるなど優遇をしてほしい。



3月5日（日）Bグループ テーマ：子ども・教育	
<参加動機> ・家に突然封筒が送られてきた。自分とは縁遠い存在だと思っていたけど、何か引っかかって、面白そうだから申し込んでみた。 ・小学校の教員をしているが、今は育休中。家にいるときはほとんどしゃべらないため、話せる機会があるのがいいなと思った。 ・封筒が送られてきて、市政の流れを見ていくうちに、自分の子どもが公立小に入るタイミングになったので、武蔵野市の教育面を少し知れたらいいなと思った。 ・封筒が来た。街歩き系の企画に参加していて、普通の生活とは違う体験をしたかった。子育てをしていた頃に、色々思うことがあったので、声が届けば面白いと思った。	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q1：自分の子どもが中学生くらいの時、放課後に勉強できるような自習室が武蔵野市に なかった。立派な図書館があるので、そこに自習室があればいいなと感じている。 A1：図書館は本の貸し借りの場だけでなく、学びの拠点である。実際、図書館に自習スペースはある。コミュニティセンターで自習をする子どもも多い。図書館のさらなる充実に関しても議論してもらえるとよい。 Q2：不登校・ヤングケアラーのほかに、子どもの貧困について関心を持っている。配布資料にはなかったもので、実態は分からないが、大きな問題にはなっていないのか。それに対する計画はあるのか。 A2：子どもの貧困は世帯単位で見ている。全国的には6人に1人が貧困状態といわれており、「子どもプラン武蔵野」の計画策定の際に、実態の把握から始めている。子どもだけでなく、教育、福祉などの分野にまたがる問題なので、全市的に議論する課題である。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：子どもたちが希望を持ち 健やかに過ごせるまちづくり	
・ヤングケアラーへの支援に介護保険を活用 ・ヤングケアラーは相談しにくいいため、どのように見つけていくのか ・公的支援に繋がりがづらい子どもの最初の居場所の必要性 ・貧困で困っている子どもへの支援 ・学習塾に行けない子どもが食事と教育を受けられる場があると良い ・親に言えないいじめ・悩みを相談できる場	・資格を持たない人でも支援員になれるような制度を作る ・人材の募集をしているが、日中に行われている研修への全参加が必須である。少し手伝ってみたい人などの参加のハードルが高い。ちょこボラみたいにやってみたいという人を受け入れる体制作りが必要 ・登録方法の情報開示が必要

・子どもの権利条例に「休む権利」とあるが、どこまでの範囲で権利行使すべきか ・不登校支援について、市からの広報が必要。子育てを離れるとPRしてもらわないと、情報が取得できない ・ヤングケアラーの実態を把握し、広報する ・今困っていることを聞いてくれる駆け込み寺のような場所を設けてほしい ・福祉施設と子ども食堂の連携をしてほしい ・ひまわりママの利用状況や行っている内容を開示してほしい ・ひまわりママの人材不足。次世代の人材をどう育成していくのか ・病児保育は利用手続きに手間がかかる	
基本施策２：安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	
・一時保育の実施園を増やしてほしい ・一時保育を利用できる園が少ないが、利用人数を増やすと保育の質が下がる ・病児保育の状況は新型コロナウイルスによって変化があったのか ・保育園の待機児童ゼロの実績は、空いている園に誘導している現状がある。学童でも同様の現象が起こっていないか気になる ・他市から市内の小学校に入学する際、幼児教育と小学校教育の円滑な接続ができるのか ・保育園を乱立させるよりも質の高い保育をするために予算を割り当てる方がよい ・支援を要する子の保育の実情 ・子育てをしていると孤立しやすいため、保育園の施設を利用して、地域住民が交流できる場を作る。勉強を見てくれるような人が常駐してくれるなお良い	・保育園は親同士の関係が希薄。子育て世代同士の近所付き合いで情報連携が必要 ・子育てが終わった世代の育児経験を活かし、子ども食堂などを運営いただく ・子育て以外のことにも目を向けられるように、市主催でイベントや講座などを実施する ・市から提供されているサービスを抵抗なく利用する ・正しい知識を大人が学べる勉強会の実施

基本施策４：子どもの「生きる力」を育む	
	・自ら支援が必要と言えない不登校児をどのように支援に繋げるか ・クレスコーレは気軽に利用できるのか ・クレスコーレの広報を学年便りや保護者が目につきやすいもので発信するのが良い ・クレスコーレの利用方法を市報などで大きくわかりやすく発信してほしい ・公共の場にポスターなどを貼り、当事者以外にも関心を持てるよう広報する ・市独自採用（市講師）の話は良い ・サポートスタッフの業務に限りがあるため、教職員の負担になっている ・教職員の休憩時間を確保する ・教職員の有給取得状況のチェック ・教職員のメンタルサポートは市区で行う ・A I やロボットがプリント配布などしてくれたら嬉しい
基本施策５：教育環境の充実と学校設備の整備	
・給食室、スクールバスがあれば嬉しい ・タブレット教育と対面での学習のメリット・デメリット ・モンスターペアレント対策を市教育委員会できないか	・教員をサポートする人材は資格がなくてもできるようにしてほしい ・親世代もタブレット教育の経験がないため、情報収集ができると良い ・どのように学校が改築されるのかわからないため、情報を共有してほしい
まとめ	・不登校児童を受け入れる施設として「むさしのクレスコーレ」があるが、施設の存在や利用方法が市民に認知がされていないと感じた。また、ヤングケアラーの問題については、悩みを抱えた子どもが気軽に相談へ行ける場所がないと感じた。 - まずは、子ども自身がそれらの問題を正しく理解する必要がある、その上で、施設やサポート内容をチラシやポスターなどを活用し、わかりやすく周知できるとよいのではないか。また、今すぐ相談したいときにすぐに相談できる施設として子ども食堂や勉強する場を備えた「駆け込み寺」があるとよいのではないか。 ・市外の幼稚園や保育園に通っている子どもが公立の学校へ入学する際に、具体的にどのような連携がされるのか不明瞭だと感じた。

3月5日（日）Cグループ テーマ：平和・文化・市民生活	
<参加動機> ・これまで地域や行政にあまり関心を持ったことがなかった。今回通知が来て、ちょうどいい機会だなと思って参加した。 ・大人になって地域との交流が希薄だと心に残っていた。そういう時に選ばれ、これはいい機会だなと思い参加した。 ・今年 80 歳になり、行動範囲が狭まっている。妻からテレビばかり観て何もしていないなら、人と対話をしてきた方が良いと言われた。特に興味があって来たわけではないが、みなさんとお話ししたくて参加した。 ・子どもが自閉症で、武蔵野東幼稚園に通っていた。40 年住んでいる。子どもは、武蔵野市がはじめて建てた障害者施設「わくらす」に入った。 ・長年住んでるが、武蔵野市のことはあまり知らない。テレビとかで住みやすい街として紹介されているが、何故だろうとすごく思う。こういった無作為で選ばれ、いい機会かと思った。今更ながら学んでいこうと思っている。当たり前と思ってることが当たり前ではないというのを意見交換できれば良い。	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q 1：施策が多くて、話し合うのも時間がかかるのではないか。例えば平和（戦争体験）とパートナーシップが同じテーマでいいのか。理由があるのだと思うが、違和感がある。施設の老朽化についても、改修やバリアフリー化の予算がないから別の方法を考えるという前提なのか、施設によっては予算があるが改修するにあたってもっと市民意見を聞きたいということなのか。 A 1：公共施設の建替えは、耐震化やバリアフリー化など施設ごとに様々な事情がある。皆さんの意見でよりよい建替えをしたいというイメージを持っていただきたい。予算がないからというわけではない。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策 1：多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築	
・戦争体験の記録などを残す。高齢化で戦争を経験した人が少なくなっている ・平和の啓発は何を持って平和なのか ・ロシアやウクライナの情勢があり、子どもの方が戦争に対してしっかり学習するのではないか ・大人になって戦争を学ぶ体験がないため、2 時間でも伝え合う経験があれば良い	

・過去の戦争を若い人たちに伝承・継承する場を作っても良いのではないか ・大人になって武蔵野市に来た人は過去の戦争や空襲について情報を知る機会がない ・戦争体験を聞ける機会などがないとリアクションに繋がらない	
基本施策２：災害への備えの拡充	
・無電柱化 ・吉祥寺は古い建物が多く、避難所まで安全に行けるのか心配 ・災害時の避難方法を電柱に貼ってほしい	・防災や災害の備えを市民１人１人が行う
基本施策３：安全・安心なまちづくり	
・安全パトロールは、ゆっくり走ってアピールしてほしい ・夜に出歩いている人が多いが、夜間の安全パトロールは実施されているのか ・災害時にどこに逃げれば良いのかわからない。自ら情報をとりにいっていないこともあるが、同じような人も多いと思う ・気になる箇所がある際に住民が警察に相談するとしっかりパトロールしてもらえる	
基本施策４：地域社会の市民活動の活性化	
・地域の担い手不足は高齢化が原因なのか ・小さい頃は消防団に身近な人が入っているとよく聞いたが、今は参加しづらくなっている ・コミュニティセンターをよく知らない。行くきっかけがなく、なんとなく行きづらい。最近 Wi-Fi 利用が可能になり、小学生が集まってゲームをしている ・町会がなくコミュニティセンターが中心になっている。 ・地域のことを知らない人も気軽な気持ちで参加できる催し物があれば、市民活動や地	・コミュニティセンターでまちの情報が入手できると良い ・市ではなくてコミュニティセンターに相談に行く。行政と市の距離が近くなり、意見を取り込んでもらいやすくなる可能性がある

域の担い手が増えるのではないか ・コミュニティセンターの活用方法がわからない ・住んでいる地域のコミュニティセンターでは、他の地域の人より優先的に早く予約できる場合がある ・大きな災害があった際に、どのような役割を果たすのか示してほしい ・情報を集約すれば役所とコミュニティセンターでそれぞれ情報を取得できるのではないか ・市役所で特定のお店を紹介することはできないかもしれないが、コミュニティセンターでこのまちにこんなお店があるなどのちょっとした情報を集約してもらいたい	
基本施策 5：豊かで多様な文化の醸成	
・年齢によって意識の差がある。年代の違いをどのようにしていったら良いのか ・武蔵野市のどこに住んでいるかによっても多様性についての考え方や受け入れる側・受け入れてもらう側の多様性も異なる ・子どもの方が多様性があるのではないか ・障害を持った子どもを受け入れる教室が昔は別にあった ・「寄り添わないではなく意識の違いがあつて、あたりまえだ」ということを認めることも多様性ではないか	・地域の差を埋めるのは広報の仕方を変えるしかない
基本施策 6：多様な学びや運動・スポーツ活動の推進	
・何を持ってバリアフリーなのかわからない ・車椅子の人を手伝う際に、体格によっては持ち上げるのが難しい ・歳をとると変なところで躓く。武蔵野市は躓くポイントが多く、道路の補修計画はあるのか気になる ・バリアフリーは身体的なものだけではない	

	・市からバリアフリーに関して具体的に住民がやるべきことを提示してくれればさまざまな意見が出ると思う	
基本施策7：まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業振興		
	・ふるさと納税で流失している場合も多い ・農地農業を有効活用したものや目玉になるものを対外的にアピールできれば税収減を防げるのではないか ・「ふるさと応援寄附」のことや、ブルーベリー畑が市内にあることを初めて知った ・生活している地域以外についてよくわからず、隔たりや相互理解がないように感じる	・自分の知らない地域を知っていくことが必要
その他		
	・自転車ドライバーのマナーが悪い ・自転車の利用が多く、歩行者が危ない	
まとめ	・戦争体験の次世代への継承や治安維持におけるパトロールは継続して実施する必要がある。 ・施設のバリアフリー化は、身体的な問題以外も含まれるため多様な意見に耳を傾けるとともに、行政として「多様」をどのように定義しているのか明確にしてほしい。 ・傷んでいる道路が多いとの意見もあり、定期的に市民へのヒアリング等を実施できるとよいと感じた。 ・行政からの情報発信について、もう少し工夫が必要ではないか。例えば、コミュニティセンターが「どのような施設かわからない」との発言があった。市としてわかりやすく施設の役割を示す必要があるのではないか。また、それらの周知が行われた後、コミュニティセンターが市と市民をつなぐ場になるとよいと考えた。 ・武蔵野市には、「吉祥寺」以外にも様々な魅力があるため、それらをどのように工夫して発信していくかが重要ではないか。 ・市からの情報発信に対して、受け取った市民もリアクションする必要がある。まずは「市に興味を持つこと」から始めたい。	
本日の感想	・住んでいる地域によって状況は異なるし、他グループの発表を聞いて、色々な困り事あることがわかった。市民として色々と発信していく必要があると思った。今後、市政にも興味を持ちたい。	

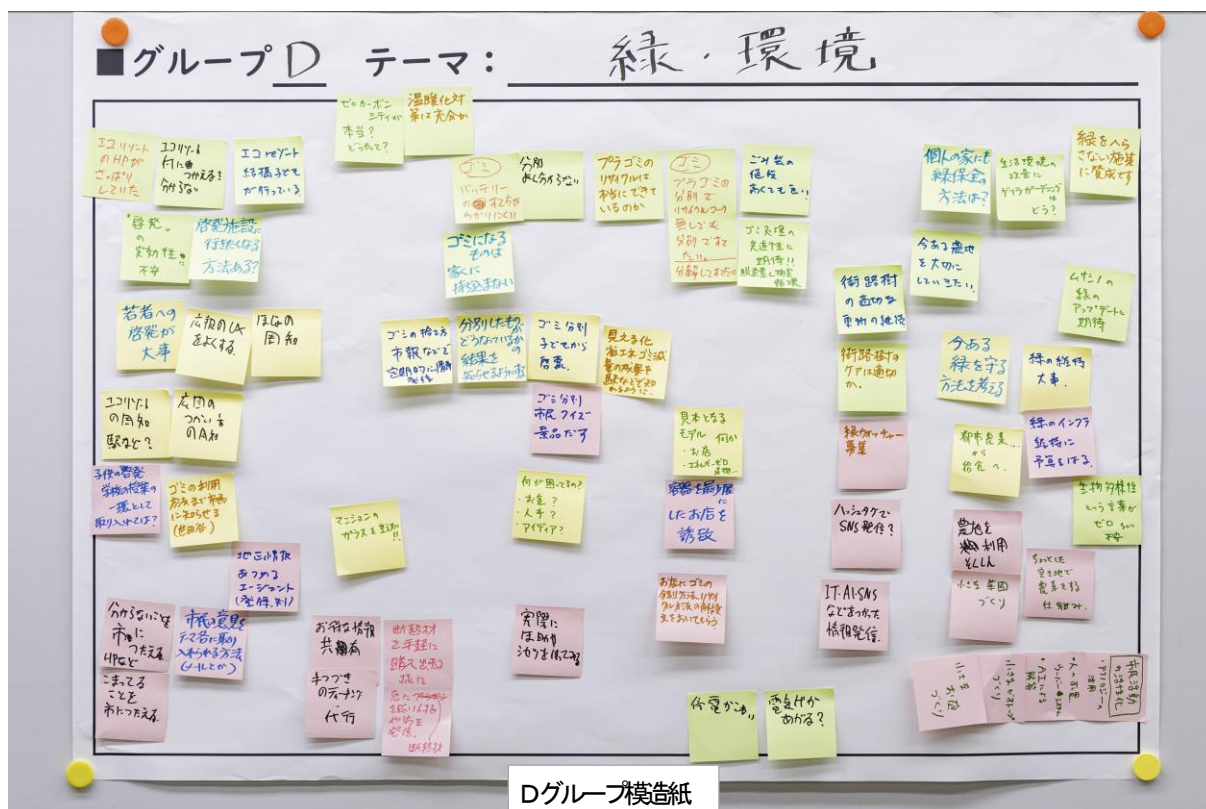
- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・武蔵野市はずっと好きだったが、知らないことが多い。普段生活していると、自分が関心あることくらいの情報しかないと思った。他グループの発表や、市の取組みを知ることで、今後も色々な所へ参加していきたいという動機になった。・面白かったが、結構話じづらかった。ただ、住んでいる地域と関わるのが大事で、もう少し自ら情報を取りに行こうと思った。・参加してよかった。年齢は関係なく、自分から積極的に情報を取っていかないといけないと思った。 |
|--|--|



3月5日（日）Dグループ テーマ：緑・環境	
<参加動機> ・2,000名の中から当選しましたと届いた。自分の意見とがどれくらい反映されるのか。少し反映されればいいかなと思い、参加した。 ・案内が届いたので、せっかくなので来てみた。緑関係の仕事をしてるため、今日はどういう立場でいたらいいのか少し悩んでいる。 ・ワークショップをやったことがなかったので学ぶために参加した。 ・当たりましたと通知が来たので参加した。 ・お手紙が来て、これは何か選ばれたんだろうなということで参加した。	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q1：ゼロ・カーボンシティとは？ A1：CO2排出をゼロにするというのは、そもそも人間が生活している上で無理である。そもそも呼吸をしている私達が二酸化炭素を吐き出している。CO2を出す一方ではなくて、それを何かしらの形で回収していくという循環がゼロ・カーボンの考え方である。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：刻々と変化する環境問題への対応	
・むさしのエコreゾートに子どもがよく遊びに行っている ・エコreゾートで何ができるのか不明 ・エコreゾートのホームページを見ても、どのような施設なのか分からなかった ・ワークショップも大事だが、啓発の実効性が弱いのではないか ・子どもが行きたくなるイベントがあったら嬉しい ・若者への啓発を行うことが大事	・分からない事を市民から市に情報発信できると良い ・市民がメールで意見を言える仕組み ・学校の授業の一環として取り入れる ・ITやSNS、AIを活用した情報発信で人的コストを削減する ・地域情報を集めるエージェントの育成
基本施策2：地球温暖化対策の推進	
・ごみから炭素を固定するという動きがある。新しい取組みに期待している	
基本施策3：「緑」を基軸としたまちづくりの推進	
・武蔵野市は街路樹が多いと感じる ・街路樹のケアの方法は適切なのか	

・木を切って植え直す必要性を市民が理解する ・生物多様性に触れられていない点が気になった ・親も給食を食べられるイベントを開催している。給食に対する自給率は 6.7 割。市内の畑は大事 ・今ある農地を大切にすることがある ・雑木林が残っている	
基本施策 4：省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築	
・電気代が上がったら怖い ・電力不足で停電した ・自分のごみの分別が得意ではない ・ごみの分別があまり徹底されていない ・プラスチックのリサイクルは本当にできているのか ・ごみがどれくらい減ったか見える化できると良い ・リチウム電池の廃棄の仕方が難しい	・ごみになるものは家に持ち込まない、チラシも断る ・容器を最小限にしたお店を誘致する ・ごみ分別の市民クイズの開催。景品をつけて普及啓発として行う ・各店舗にごみ分別の解説書を設置 ・新たに畑を借りるよりは、シェア畑のような仕組みを導入 ・緑のインフラ事業に予算をつける。補助金も活用する
ま と め	・環境啓発施設としてオープンしている「むさしのエコ re ゾート」の存在を知らなかった。施設の役割等を広く周知するため、I Tの活用や駅周辺施設への広告の掲示などに取り組めるとよいのではないか。 ・ごみ問題については、生活に直結していることから多くの意見が出された。分別は実施しているが、その後どのように扱われているのか、分別することのメリット等は見える化した方がよいのではないか。また、武蔵野市にはクリーンセンターがあるため、先進的なごみ処理手法についても発信できるとよいと考えた。 ・過剰包装の問題についても、包装されていない商品を販売するようなモデルケースとなる店舗があるとよいのではないか。 ・エネルギー施策として、断熱材の利活用は重要であるため、補助金を交付するなど工夫できるとよい。 ・緑の保全について記載があるが、具体的な行動につながらないのが課題と認識している。多種多様な緑が存在するため、今後それらをどのように保全し、活用していくのか、そのためにどのような活動が必要なのか考える必要がある。

- ・ワークショップに参加したのは初めて。住んでいる地域の取組みに協力したいという方が結構いると感じた。これから自分として出来ることがあれば参加していきたい。
- ・皆さんよく考えているんだと思った。温暖化対策は難しいと感じた。
- ・このような場は、大体誰かが喋って、聞いているパターンが多いが、たくさんディスカッションされて驚いた。住民意識が高いという話もあるし、いいところに住んでいるなと改めて感じた。
- ・大きなテーマで総合して緑の環境を守ることになると思った。武蔵野市独自の何かプライドや、信頼や希望を皆さん持ってらっしゃるところがあるのかなと感じた。
- ・情報の集積と発信は重要なテーマだと改めて思った。



3月5日（日）Eグループ テーマ：都市基盤	
<参加動機> ・単純に手紙がきたので、参加しようと思った。 ・長く暮らす予定なので、選ばれたこの機会に参加した。 ・折角選ばれたので参加した。建築関係の仕事をしているので街のあり方、都市をどう作っていくかに興味があった。	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q1：LINEでの市民通報は稼働しているのか？ A1：2年前から実施し、一定程度情報は集まっている。市もパトロールしている。 Q2：ムーバスの課題は財政的なものなのか？ A2：コロナで公共交通の利用者数と売上げが減った。赤字路線もある。利益をあげることが目的の事業ではないので、こういった料金体系であれば持続していけるのかを議論したい。 Q3：ムーバスの運転手が大変そう。道が狭くストレスがあるのでは？ A3：運転手不足、人材確保の問題があると認識している。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：個性あふれる魅力的な地域のまちづくり	
・空き家は安全性と景観の問題があり不安 ・吉祥寺駅前の景観が年々劣化している。看板の大きさや形、景観ガイドラインを設けてほしい ・吉祥寺の商店街は、量販店が年々増加しており、景観が崩れるのが不安 ・自然の永続的な保全を行って欲しい ・購入した家の周辺環境がどのように変化していくのが不安	・景観に関して市担当者に熱意を持ってもらいたいので積極的に声を上げていく ・ごみ拾い等のボランティア活動を行う ・魅力ある景観保全の手伝いや見守りを個人レベルで行う ・お得な補助の情報などを人に伝えていく ・植栽の活動に参加する ・良いまちの情報をSNSで紹介する
基本施策2：将来にわたり持続性ある都市基盤づくり	
・都市計画を誰もがわかりやすい内容にする ・分かりやすい土地利用計画の提示 ・都市計画を読もうと思っても役所がない	・市民が情報開示を要求する ・土地利用の情報収集を自ら行う ・都市計画や市報が各家庭に配布されていることが有難い
基本施策3：誰もが利用しやすい交通環境の整備	
・ムーバスの継続的な運行 ・リモートワークの推進とオフピーク通勤	・自転車の乗り方を率先して気をつける ・交通ルールを守り、譲り合いを行う

- を取り入れる ・交通マナー講習の受講者に駐輪場の抽選確率が上がるなどのメリットを提示	・混雑時間を避けて通勤する、またはリモートワークする
基本施策４：安全で快適な道路ネットワークの構築	
・自転車が車道を走ることが怖い。歩行者・自転車・車道をうまく分けられないか	・日常生活で気づいた危険なエリア、逆にGoodポイントをSNSで共有
基本施策５：安心して心地よく住み続けられる住環境づくり	
・市が市営住宅を保有する必要があるのか ・市営も都営もある状態である。民間と連携を強化したい ・居住のニーズは高い	
基本施策６：活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	
・吉祥寺駅南口は、バス停を移動する必要があるが。車が入ってこない状態が理想 ・三鷹駅前に信号の設置が必要 ・吉祥寺駅南口の計画は進展がない	・応援したいお店を開拓する ・地元のいいものを集めたアンテナショップのようなスーパーを作る ・市民の困りごとを情報収集できる方法
ま と め	・駅前の自転車交通の安全性について課題があるとの意見があった。ハード面では、バスルートの変更や信号機の設置、ソフト面では、自転車マナーの遵守や講習への参加、オフピーク通勤を取り入れるなどの工夫ができるのではないかな。 ・景観については、駅前の看板がごちゃごちゃしていることや市役所前の桜並木等をどのように保全していくかという話があがった。市として景観条例を定め、統一的に管理していくのもいいのではないかな。駅前の看板については、エリアを分け自由に掲載できる場所とそうではない場所を整理するのもいいのではないかな。桜並木の景観については、ボランティアを活用し、持続可能な形で保全できるとよいのではないかな。 ・個人商店の減少とチェーン店の増加により、まちの魅力が減少しているのではないかな。 ・市の良さや魅力をSNS等を通じて発信していくことで、それらの課題を解決できるのではないかな。 ・駅前にも空き家があり、安全性や景観保全が課題である。民間の力をうまく活用し、課題解決に繋がれるとよいのではないかな。 ・自分たちの住んでいるエリアが今後どのように開発されていくのか知らない。市HPに情報が掲載されているが、日常生活において触れる内容ではないため、市民も

3月5日（日）Fグループ テーマ：行財政	
<参加動機> ・休日を有意義に過ごしたかったから参加した。市の人たちが、どれだけ本気で考えているのかを見てみようという気持ちで参加した。 ・純粋にどんなことをやるのか気になった。事前情報なしで今回参加している。 ・元々政治経済・社会学を学んでいて興味があった。何か市政に関わりたと思っていて、今回手紙がきたので参加した。 ・手紙が届いて市民の声をこんな風に集めるのだと面白さを感じて、今回参加した。 ・ハガキが来て、このようなことをやっていると初めて知った。このような機会があるなら、1つでも役に立ちたいと思い参加した。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：市民参加と連携・協働の推進	
・若い世代に市の取り組み内容を知ってもらうことが重要 ・魅力化が課題 ・小学生に市の現状を見てもらう。模擬市政を行ってみる ・若い世代のリーダーを作り市政に興味を持ってもらえるようにする	・家族や友人と積極的に市政について話を して、情報を身近に感じられるようにする ・週1回「武蔵野市」を検索する ・若年層、高齢層も参加する模擬市政の実施
基本施策2：効果的な広報・公聴の仕組みとプロモーション	
・市報を見ない。どのように興味を持ってもらうかが重要 ・SNSに関心がない人には情報が届かない ・情報アクセスのハードルを下げる ・多様化する情報で大事な情報が埋もれてしまう可能性 ・こども市報新聞 ・分かりやすい言葉を使用する	・興味を持てるような印刷物に見直す
基本施策3：公共施設等の再構築と市有地の有効活用	
・老朽化している施設をどうするのか ・老朽化対策の費用を最低限にして、新たなものや他の部分に費用を補填してほしい	

	・改築後の利用率が減少するのではないか 不安
基本施策４：社会の変化に対応していく行財政運営	
	・D X化が進んでオンライン申請が可能になることは大変助かる ・市が行っている内容が分からないため、ワークショップの開催やL I N E等で市民の意見を吸い上げることを積極的に実施した方が良い ・安定した税収の長期的視点を知りたい ・何に税金が使われているのかが分からない。目にみえるリターンがあると良い ・オンライン化についていけない世代・人へのサポートをどうするのか ・税金の使い道などを二次元コードで簡単に見られる仕組み ・ふるさと納税の金額公表
基本施策５：多様な人材の確保・育成と組織の活性化	
	・D Xが進むにつれて、さらなる人材不足の問題が出てくるのではないか ・市職員の採用には年齢制限があるため、リタイアした人材を活用したらどうか ・新しいツールを導入する際の費用が心配
ま と め	・若い方の政治参加、市政参加が課題である。情報へのアクセスのハードルを下げる こと、例えば、わかりやすい言葉に変換した子ども向け市報の作成や模擬議会の開 催など市政に興味を持ってもらうための工夫が必要ではないか。また、それらに 様々な世代の方が参加することで多様な意見交換が行え、相乗効果が見込めるので はないかとも考えた。 ・市の取組み内容について知ったことを家族や友人とシェアする機会を作ることも 大事ではないと考えた。 ・情報があふれている今の社会でいかに情報を伝えるかは非常に難しいと感じた。L I N EやFacebook、YouTubeなどを活用する中で、「伝わる情報」を発信すること が重要だと感じた。また、子どもの頃から市政に関心を持てる関わりがあるとより 情報もキャッチしやすくなるのではないか。

	・納めた市民税がどのように使われているのか不明瞭である。調べようと思ってもなかなか情報がキャッチできないため、チャットボットなどで簡単に確認できる仕組みがあるとよいと考えた。 ・デジタルを活用した施策を積極的に取り入れ、生活が便利になるとよいと感じた。
本日の感想	・初めて会った方とお話ができてよかった。 ・各グループの発表を聞く中で情報の発信について意見が出ていた。このグループでも、発信や市民サービスに視点を当てるということが大事という意見がでた。他グループも同様の意見が出たという点で、このような話し合いのプロセスを用意することで、共通認識を作っていくことができると感じた。仕事でブレインストーミングを行わないので、このような手法は市民活動や会社でも有効であり、体験することができ良かった。 ・年齢も住んでいるところもバラバラで、このような機会がなければ出会うことができなかったメンバーなので、面白かった。この場で結論を出す訳ではないが、面白い話ができた。他のグループの発表も参考になった。



3月5日（日）Gグループ テーマ：子ども・教育	
<参加動機> ・子育てを通して、市が提供する支援・サービス・ハード面に非常に感謝している。今後の未来に繋がることがあればと思い参加した。 ・50年以上、学童に関わってきた。長期計画の公募市民会議委員も務めたこともあり、以前関わったものの経過を知りたく、このテーマを選んだ。 ・40年間教鞭をとっていた。皆さんがどんなことを実際の教育に思っているのか意見を聞きたいという軽い気持ちで参加したが、武蔵野市の将来を担うような話で正直驚いている。	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q1：子どもというのは何歳までか？ A1：法律上は18歳までが子どもである。子ども・教育分野も、基本的には18歳までを対象としている。妊娠期から出生時～小中学校まではいろいろな取組みがあるが、高校生世代になると市との繋がりが薄くなっていく。その部分が弱いという課題がある。ヤングケアラーなど、いろいろな困りごとを抱えてる若者がいるので、どのように支援を繋いでいくかが課題である。 Q2：武蔵野市が独自に教員を支援する人材を雇用している点は非常に良いと思う。市講師は小学校だけか。それとも中学校にもいるのか。 A2：小学校にも中学校にも配置しているが、小学校のほうが手厚くしている。 Q3：主担任は東京都教育委員会で採用、配属され、たまたま武蔵野市に配属された方は市独自のサポートが入るため、負担軽減になるという理解でよいのか。 A3：そのとおりである。各自治体の教員の負担軽減の取組みとして、部活動指導員の配置などもある。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	
・武蔵野市の子育て支援の見える化 ・地域を巻き込んだ広報 ・家庭で親と子どもが向き合うことが大切 ・モンスターペアレントが増えている ・子どものトラブルは、まずは親同士で解決する。学校や行政に頼りすぎない	・自分ができる市政へ関わりを持っていく ・「市民社協だより ふれあい」を読む
基本施策2：安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	
・PTAのイメージが悪い。運営内容や方法のアップデート	・PTAのイメージが悪い。運営内容や方法のアップデート

・保護者と学校の密なコミュニケーション ・保護者同士のオープンなコミュニケーションのために父母会を活用していく ・学童の父母会が減少 ・コミュニティセンターの存在を知らない		・PTAの広報と改革 ・共通の目的を持てる会を実施する ・地域や教育関係の活動に参加は仲間次第 ・学童や保育園の取組みで、進学先の保護者から話聞ける機会があり参考になった
基本施策3：子どもと子育て世帯を地域社会全体で応援する施策の充実		
・広い繋がりのある施策の実施 ・保育園や一時保育の数を増やしてほしい ・保育園の利用調整では、納税額が多い世帯へのメリット提供も必要ではないか ・保育園の募集時期を早めてほしい		
基本施策4：子どもの「生きる力」を育む		
・核家族化が進み、地域でフォロー・話しあう場が減っている		・ボランティア活動の募集とマッチングできる仕組み
基本施策5：教育環境の充実と学校設備の整備		
・学童は指導員が少なく切磋琢磨した教育が難しい ・公教育の質の向上 ・教育委員会のガバナンス向上と強化 ・学校教育のデジタル化 ・校外学習の期間が長い。素晴らしい取組みだと思う		・教育委員会に市民が関与していく ・校外学習を継続できるための人材の募集
まとめ	・保育園の数や一時保育が可能な施設を増やしてほしい。また、保育園の入園可否の連絡についてもう少し早められないかななどの意見があった。 ・小学校や中学校になるとニーズが多様化し、学校と保護者に対立が生じることがある。市や行政、市民、地域等それぞれの役割を明確にする必要があるのではないかな。 ・ジャンボリーは、素晴らしい事業であるため継続してほしいとの意見もあった。 ・社会の変化が激しい中、この世の中で世界に通用する教育ができているのかとの意見もあった。市としての教育のビジョンを作り、その過程で地域も巻き込めるとよいとの意見もあった。市民としても、積極的に参加していく姿勢が大事だと感じた。 ・市政に参加したいと考えている市民もいるため、具体的な活動とのマッチングを行うようなシステムがあるとよいのではないかな。	
本日	・参加して本当によかった。出席したくないような気持ち半分あったが、参加してそれなりの収穫を得ることができた。	

- の感想
- ・色々話してみると、問題意識を皆さんと共有できる感じがとてもよかった。話すことで自分では思いもつかない解決策などが出てきた。
 - ・色々な経験をされているお二方とご一緒できて学びが多かった。子どもの年齢が上がることで色々と違う観点や学童の仕組みがあったりと、大変勉強になった。



ウ．各グループ意見結果（３月１２日実施分）

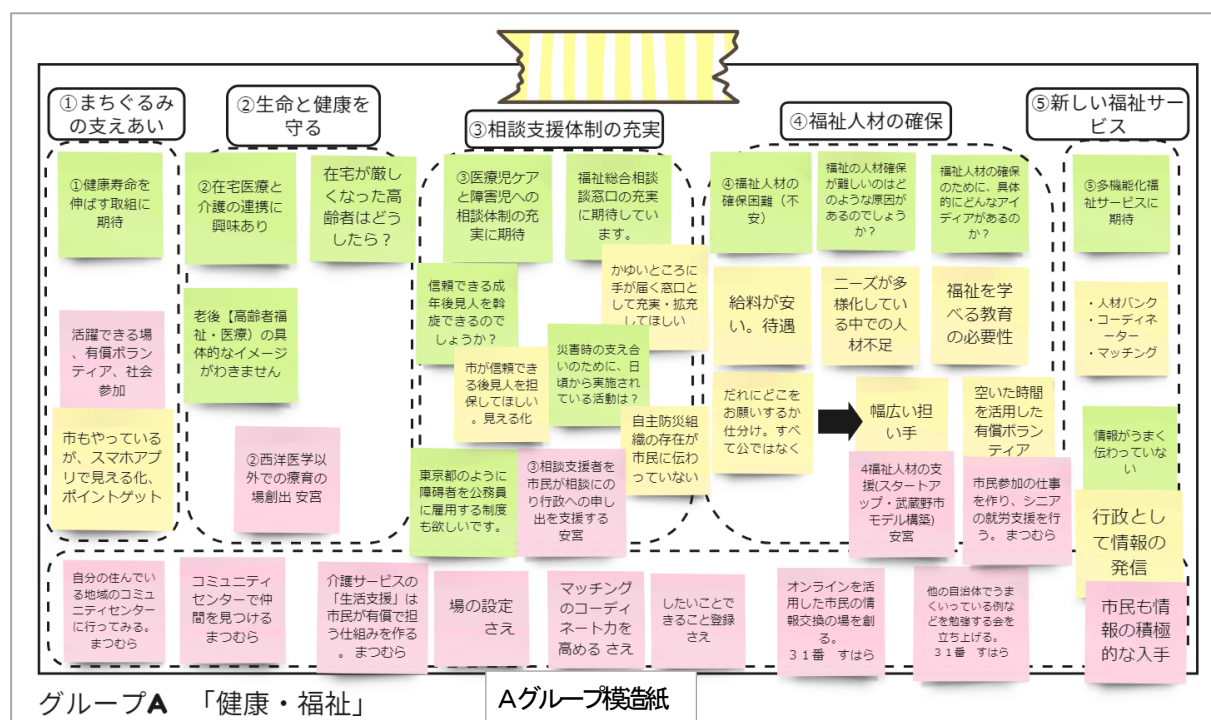
各グループでの自己紹介から発表までの議論をまとめています。参加者から出された意見（付箋）は、各基本施策にあてはめて整理しています。

３月１２日（日）Ａグループ テーマ：健康・福祉	
<参加動機> ・娘の学校の関係で市外から転居してきた。子育てをしながら仕事をしていると、地域との交流がなく、老後を考えたときに地域とのつながりは大事だと考えた。 ・子どもが軽い障害を持っており、武蔵野市の福祉に興味がある。武蔵野市の福祉について聞きたいと思い参加した。 ・会社がある場所には詳しいが、武蔵野市は詳しくない。老後のためにも市の取組みを知っておきたく参加した。 ・単身赴任で現在他府県在住だが、他市と比較した武蔵野市について意見を出せると思い参加した。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策１：まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	
・引っ越しの際の近所へのあいさつ回りの時に、自治会長の名前を覚えてもらえなかった ・災害時の備えを商店会と地域が一緒にできるといい ・武蔵野市には町内会がない。その代わりコミュニティセンターが町内会的な役割を担っている ・地域コミュニティの存在を市民自体が把握していない	・日ごろから近所の方と知り合いになっておくことが防災にもつながる。コミュニティセンターなどで交流の機会を増やす ・人の手を借りたい人と、役に立ちたい人のマッチングができる「マッチングコーディネーター」がいるといい ・まずは自分の地域のコミュニティセンターに行ってみる ・自分たちでできることを担えればいい ・スポット就労ができる場があるといい ・オンラインを活用した市民との情報交換の場を創る
基本施策２：生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化	
・健康寿命を延ばす取組みに期待 ・歳を重ねていって、終末医療に移行した際に病院でのケアになるのか、在宅でのケアにできるのか興味がある。 ・老後（高齢者福祉・医療）の具体的イメージがわからない	・人の役に立てる、活躍できる場があることが健康寿命を延ばせる秘訣だと思う

・薬ではない社会的処方注目する ・音楽や芸術鑑賞を通し、脳を活性化	
基本施策3：安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	
・東京都のように障害者を公務員にする制度が欲しい ・医療児ケアと障がい児への相談に役所の方が慣れていてスムーズ ・相談内容が多岐にわたることにかゆいところに手が届きにくい ・福祉相談窓口の拡充	・市政・市民側にも情報発信、受け取り側にとっての見える化が大切 ・市民の積極的な情報収集が必要
基本施策4：福祉人材の確保と育成に向けた取組み	
・福祉はボランティアのイメージがあるが、収入を伴う福祉の形もあるはず。給与収入があるような支援をしていくのが良い ・ニーズの多様化によって、様々な人が福祉を学べる教育が必要 ・成年後見人による財産の横領が散見される。市が信頼できる人材を斡旋できるのか ・人材不足が給与の問題であれば、市で給与をあげる取り組みが出来れば良いのではないか	・他都市で人材確保がうまく行っているケースの勉強会の実施 ・市民参加の仕事を作り、シニアの就労支援を行う ・福祉人材の支援メニューの検討
基本施策5：新しい福祉サービスの整備	
・効率よく多機能で臨機応変な福祉サービスは他自治体にはない。取組みに期待したい	・電子ツールで情報交換などができる仕組みができると良い ・情報をスムーズに伝えるためオンラインを活用する
まとめ	・行政で実施している取組みがうまく市民に伝わっていないと感じている。行政と市民をコネクトする場をオンライン及びオフラインで増やしてほしい。 ・相談支援体制の充実と福祉人材の確保については議論が盛り上がった。 ・困った時に行政に相談しても、縦割り業務であることから、市民が満足できない点があった。市民とのコミュニケーションを通して、行政への申し出が可能な相談支援体制を作りたいと考えた。 ・福祉的な人材の給料面や福利厚生の実質化を行政と市民で共に考える必要がある。 ・在宅医療と介護の連携に興味があった。

本日の感想

- ・皆さんが考えていることが違って面白い。市民として、次世代の子どもたちや先輩たちと「まち」を作っていくために、できることは貢献したいと思った。また、自分の成長の場にもなると思った。他グループでも意見があったが「伝える伝わる」は大事であり、いいことをやっても知られていないことが多い。他市の例も参考に、よりよい未来づくりを若い世代に引き継いでいきたい。
- ・日曜に集まって、このような意見がどんどん出てくる点は、やはり武蔵野市は素晴らしいと感じた。これからも住み続けたい。
- ・このような集まりは女性が多い傾向にあるが、同じグループに男性2名が参加していて驚いた。皆様、俯瞰的な意見が多く、さすがと感じた。
- ・12年住んでいるが初めての経験だった。市民の声を吸い上げて市政に生かすことが素晴らしい。機会があれば、また参加したい。

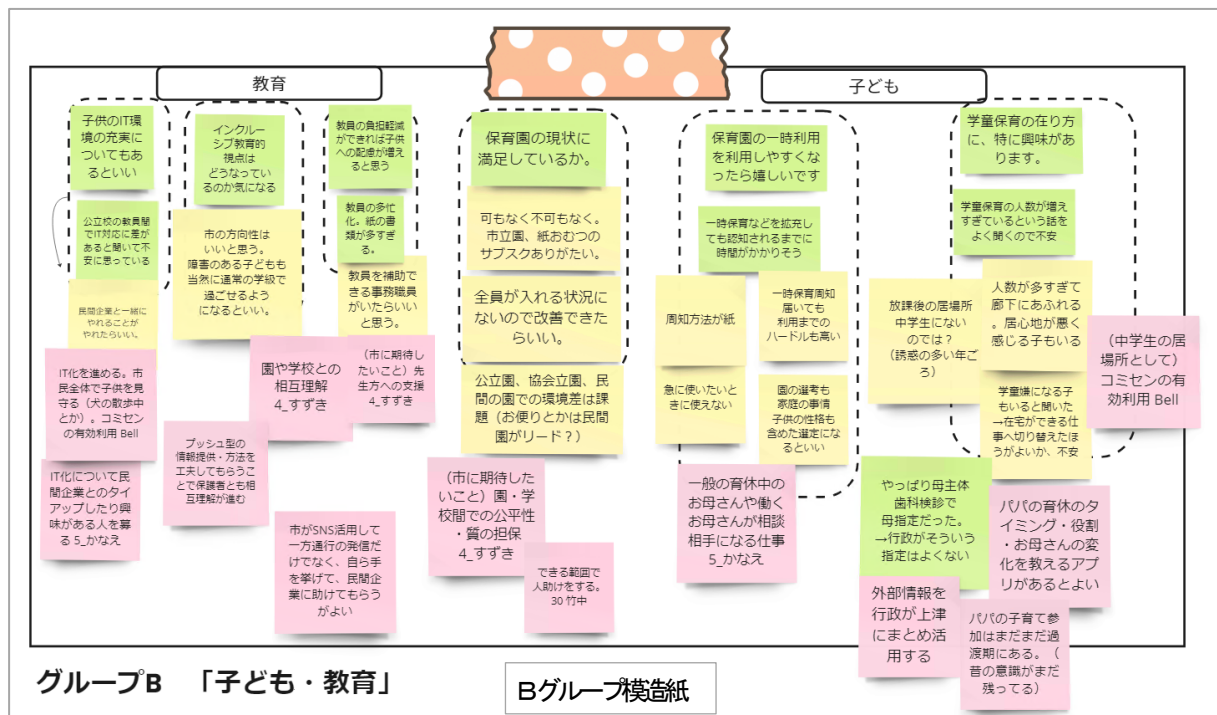


3月12日（日）Bグループ テーマ：子ども・教育	
<参加動機> ・選ばれたことに特別感があったので嬉しかった。 ・まちづくり系の仕事をしている。行政が主催するワークショップに関心があったので参加した。 ・どのような話が出るのか気になった。家族が増えてまちの取組みに対して興味が出てきたので参加した。 ・ワクチン接種券の配布において混乱があった。市に意見を言ったら改善されたので、今回参加してみようと思った。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	
・暗い時間に帰ってくる学生を見ると防犯上少し怖いと思う	・市民全体で子どもを見守る。犬の散歩などを活用して自然に子どもに目を配る ・たくさん納税する ・市内に限らず人助けしていく
基本施策2：安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	
・保育園によっては延長保育が受け入れてもらえず大変 ・中学生が最も誘惑が多い年代ため、ケアが必要とされているのではないか。集う場所があったらいい ・学童の定員数が増えたことで居心地の悪さが出てきてしまった ・学童が嫌いで学校に行けなくなる事例もあり、質が気になる ・一時保育を拡充した際に利用する人がどれほどいるのか ・情報がしっかり市民に届くまでにハードルがある。特に紙媒体 ・保育園によって対応に差がある（例：おむつのサブスク） ・入園の選考基準はもう少し細かく見てもらいたい ・個人的には男性の育児休業の取得率が増	・妊娠から出産、育児の流れを学べるパパ向けの冊子をwebアプリに変えてみる・出産や産後の実体験をWEBアプリのコンテンツにする。企画を体験した方が考える ・母子手帳交付時に様々な家庭向けの冊子があると良い（パートナー向け） ・コミュニティセンターを中学生のために有効活用していく ・資格を持っていない育休中の方やワークママが相談に乗ってくれる場があると良い。コミュニティセンターでやっている子育て支援に一般の人も巻き込む ・絵本を持ち寄った高齢者が行う相談室や場があると良い ・子ども文庫の場所を市が用意する

えていると思う ・男性側が主体的に育児するのはハードルが高い	
基本施策４：子どもの「生きる力」を育む	
・生活や学びにインクルーシブ的な視点が重要 ・障がいのある子どもも希望すれば通常級で学習できることが望ましい ・数値で測れないものを身につけることは重要 ・企業と協働していくことも必要	・市でできない部分を Twitter を活用して情報発信し、企業とタイアップすることで解決していく ・興味ある人材を地域から募る ・企業人材で情報発信が好きな人を繋げる
基本施策５：教育環境の充実と学校設備の整備	
・先生によって I T 対応の差があった ・就学支援相談員が通常学級や特別支援学級が良いかをご家族と相談しながら決定している ・教員の多忙さがあるため、副教員を置くことで余裕が出るのではないかな ・紙での作業が多い ・市の講師派遣がとても良い。事務的なサポートも含めると良い ・入力などの作業は教員資格がない方でもできるとよい ・ICT サポーターが各学校に在籍している	・先生と親が相互理解する意識を持つ ・学校側の発信方法を工夫してほしい。プッシュ型の情報発信が重要 ・教員への I T 支援
ま と め	・以前からある素晴らしいサービスは継続し、そうでないものは時代の変化に伴い、適宜適切にブラッシュアップする必要があると感じている。 ・犬の散歩を兼ねた防犯パトロールや子ども 110 番の家などの地域の見守りの目は継続して欲しい。 ・教員の負担軽減として I T 化によるペーパーレスを推進してほしい。 ・学校毎で I T 教育の質に差がある点は課題と認識している。市全体で質を上げる取り組みが必要ではないか。市職員だけでなく、地域人材などを活用していくことも検討してもよいのではないかな。 ・子育て世代に役立つサービスなどは民間企業でも提供しているため、うまく連携することで課題解決に繋げていけるのではないかな。

本日の感想

- ・色々な話が聞けてよかった。行政・まちづくりは男性で、ごみ問題や子育て問題は女性が考えているのではないかと感じた。触れている時間も異なっていて、得意分野があるのはいいが、両方の分野にお互いの意見が入るとさらに良いと感じた。
- ・自分も家庭のことに囚われがちだと感じた。視野を広く持った方がいいのかなと思った。別の分野にも目を向けていきたい。
- ・楽しい時間を過ごせた。他のグループの発表を見ていて情報発信の課題を挙げていることが多かった。受け取る側もキャッチしやすい工夫、発信者側も発信する工夫が必要だと感じた。
- ・同じ環境の方が多かったので共感する部分が多かった。新しい視点も参考になった。他のグループと共通している部分も多く、若い人の意見が参考になった。



グループB 「子ども・教育」

Bグループ模造紙

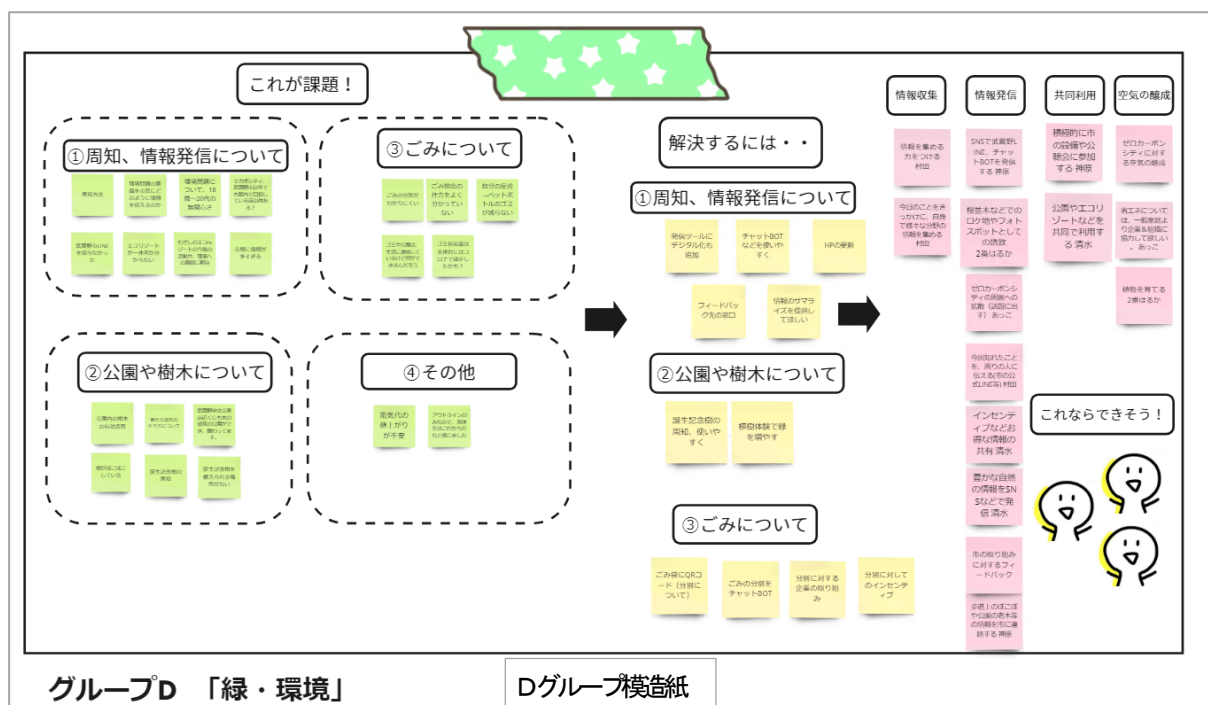
3月12日（日）Cグループ テーマ：平和・文化・市民生活	
<参加動機> ・ネットは得意ではないが、たまたま選ばれどんなものかなと興味を持ち参加した。 ・武蔵野市に住んで8年ぐらいになるが、仕事に追われており市のことを全然知らなかったため参加してみようと思った。 ・はがきが来て、「こういうことやっているんだな」「どんな人が来るのか」「どういうふうに市民の声が活かされるのか」知りたいと思い参加しようと思った。 ・外国人にもこういうはがきが来るんだと思い、どのようなことを行うのか知りたくて参加した。日本生まれ・育ちではないため、正直武蔵野市のことはわからないこともたくさんあると思うが、話を聞きながらどういうものか見てみたい。 ・今までこのようなことに積極的に参加したことがないので、応募した。若い人から大人まで住み心地の良い誇れる街になればいいなと思っている	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q1：シルバー人材センターはなぜなくなったのか。 A1：老朽化とバリアフリーの課題があったため、武蔵野警察前の旧信用金庫本店の場所に移転した。移転先でリサイクル作業所のスペースが取れないため閉鎖された。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築	
・地域ごとの相互理解がない ・多くの外国人の方が住んでいると感じる ・来日したばかりの外国籍の住民に対してどのような支援があるのか ・意見交流会をもっと実施し、様々な方に参加してほしい	・興味を持って知ることが、市民ができる一番大切なこと ・市民の声が届かなくなっている現状において、このような機会に参加できることに価値がある ・平和に関するイベントの情報が入ってこないとアクションに繋がらない。まずは市からの情報発信が重要
基本施策2：災害への備えの拡充	
・無電柱化にすると、街の景色は綺麗になるが、断線や停電になったときのメンテナンスに、かなりの労力を使うのではないかと心配	・防災訓練を年2回程度実施しているのは知っているが、なかなか参加できない。いざという時に市民同士が連携できることが重要 ・コミュニティセンターの災害時の役割を明確化すべき

基本施策４：地域社会と市民活動の活性化	
・コミュニティセンターのバリアフリー化の協議や設置までにどれくらい手間暇がかかるのか	・コミュニティセンターを中心に市民がより繋がっていくことが必要 ・まちの情報がコミュニティセンターから取得できると良い ・市民と市の距離が近いことでニーズを拾いやすくなるのではないかな ・まずはコミュニティセンターを利用してみる
基本施策６：多様な学びや運動・スポーツ活動の推進	
・市民プールや図書館が、未来を担っていく子どもたちの学びの場になる。武蔵野市への愛着へと繋がるのが良い ・図書館は、リラックスできる椅子の数を増やしてほしい	
基本施策７：まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業振興	
・CO+LAB MUSASHINO は産業が活性化して良いイベントだと感じたが知らなかった ・CO+LAB MUSASHINO をより広報して欲しい ・駅の改札に横断幕を張ると目がいくのではないかな ・スーパーの掲示板にイベント情報を掲載 ・アンテナショップの存在を知らなかった ・武蔵野市はふるさと納税に力を入れている印象がない。どのように活動していくのか ・シルバー人材センターのリサイクルショップにコアなファンがいる	・地元のお土産やお菓子を買って応援してあげたい
その他	
・市報で見ている情報と、今回聞いた情報にイメージの違いがあった ・市報とチラシのイメージが異なる。広報の効果が出るのはチラシではないかな ・市の公式LINEを登録しているが実際見ない	

3月12日（日）Dグループ テーマ：緑・環境	
<参加動機> ・ 市政について少し考えて見たいと思い参加した。 ・ 募集の書類が来たので試しに応募してみた。 ・ 20代前半でこのようなワークショップに参加する機会はないかと思い、興味本位で参加した。 ・ 武蔵野市に長く住んでいて良さを感ぜられていなかった。子どもがごみ収集車が好きで公共施設に行ったことで、様々な行政の取り組みを知り、今回参加した。	
<市職員からの説明に対する質疑応答> Q1：家庭ごみの排出量が増加に転じたとの話があったが、市内の企業ごみの増加状況は調査しているか。 A1：調査しており、企業や事業者からのごみの排出量は減少している。 Q2：プラスチックごみの出し方が変わった点について、詳しく聞かせて欲しい。 A2：令和4年度に法律が改正され、分別方法や収集のあり方を変える必要がある。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：刻々と変化する環境問題への対応	
・ エコレポートをよく知らなかった ・ 18から20代の無関心さ。どのように関心を持ってもらうのか ・ 情報が多すぎる。伝えたいことを絞りまとめた形で配信することが大事 ・ 周知方法として二次元コードを取り入れる ・ 市ホームページの情報更新と市報のデジタル化を推進する ・ 忙しい人向けのショート動画やファスト動画が簡単に手に入るのが理想 ・ 意見をフィードバックする窓口があるとよい	・ 公聴会やワークショップに積極的に参加する ・ イルミネーションを活用し、若い世代を取り込む ・ 情報を集める力を個人でつける ・ 情報収集後に周りの人に伝えていく。市に気づいたことを伝えていくアクション
基本施策2：地球温暖化対策の推進	
	・ ゼロカーボンシティを目指すという機運を醸成する
基本施策3：「緑」を基軸としたまちづくりの推進	
・ 中央通りの桜並木の根がボコボコしてい	・ 街の中で気になった箇所を市の窓口に伝

て気になる ・伐採した木を遊具などに活用 ・武蔵野中央交差点付近の木製遊具の公園が賑わっている ・井の頭公園の桜が綺麗。これまでに植えてくださった方のおかげで、自然を感じることができるので、住みたいと思う ・自然に触れる体験が少ないので保育園などで樹木を植える体験 ・誕生木を植える場所がなく、手続きも面倒 ・人口増加とともに緑の保全が必要	える ・植物を育てる ・桜並木をフォトスポットとして広報する ・既存の綺麗な木などを活用したプロモーションの実施
基本施策 4：省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築	
・武蔵野市はごみの分別が細かい ・エコセメントの活用などを周知し、身近に感じてもらう ・分別の意識を若い人にどのように根付かせていくか ・ペットボトルごみが減らない ・リサイクルを行うとすぐ還元される仕組みがあると意識が変わるのではないか ・自治体のごみを減らすためのイベントや仕組みについて検討する ・市の公式LINEが知られていない ・市のごみ袋に二次元コードを貼り付ける ・市民に伝える手法を市が準備する ・ごみの分別方法をチャットbotで回答	・SNSを活用し、ごみの分別方法をチャットbotで確認できることを発信する ・ゼロカーボンシティ等の情報をSNSで発信する ・企業に省エネルギーに協力して欲しい
まとめ	・市の環境配慮への取組みで知らないことが多いと感じた。むさしのエコレポートの取組み、公式LINEのチャットボット機能でごみ出しの方法を確認できるなど様々な取組みが行われているが、市民に情報として届いていない。情報発信の方法について、見直しが必要ではないか。 ・市報による情報発信がメインと認識しているが、文字量が多く自分の求めている情報がどこに書かれているかわかりにくいと感じている。ショート動画など端的に情報をまとめたものを作成するのはどうか。また、市民が自ら情報を取りに行き、そこで得た情報を知人や家族と共有することも周知として効果的だと考えた。

	- 行政サービスを利用した際、利用者としてどう感じたか意見を出せる環境や仕組みが整っているとよいと感じた。 - 市内の緑は魅力であるため企業と連携した広報など行えるとよいのではないかと。
本日の感想	- 他のグループでも情報周知の課題がでていた。今回参加して初めて知ることがあったので、このような場に参加すること自体に意義あると感じた。 - 今まで気がついていなかった不満に気がつくことができ、良い体験だった。 - 世代を超えた方とお話しする機会がないので新鮮だった。広い意見を聞くことができ参考になった。 - 世代が異なる方同士で色々な意見が出て、武蔵野市に対して興味を持てるようになった。今後さらに自分も関わっていきたいと感じた。



グループD 「緑・環境」

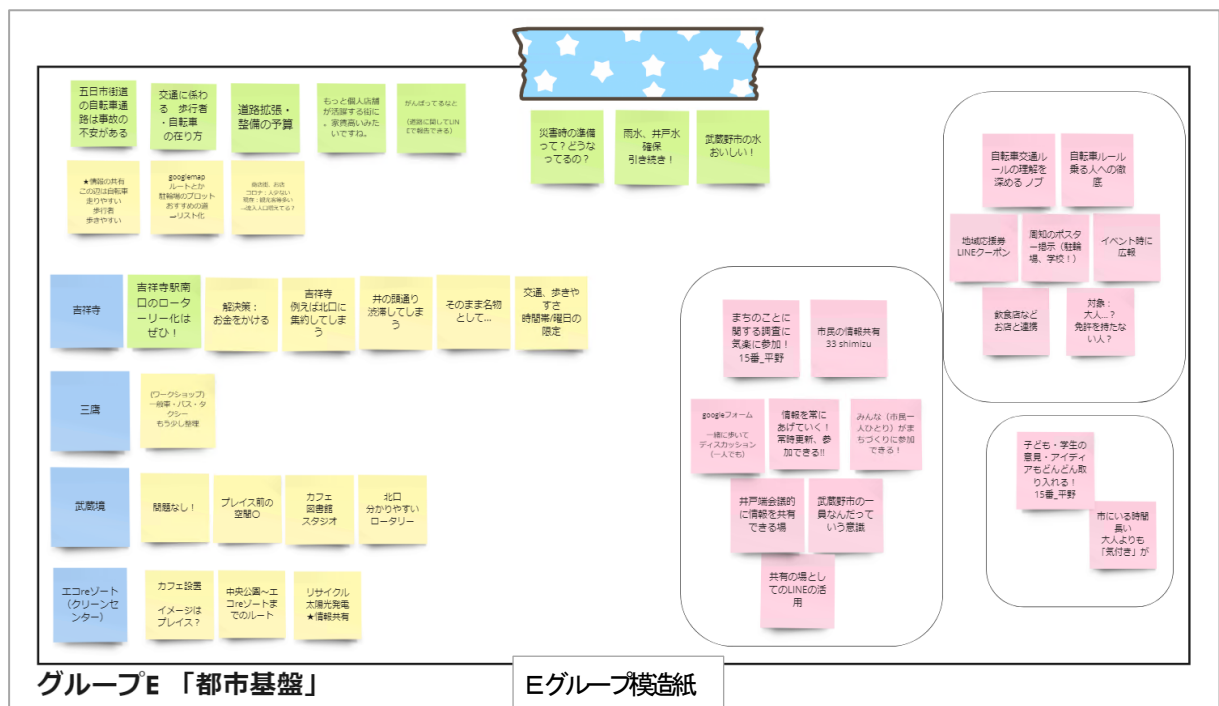
Dグループ模造紙

3月12日（日）Eグループ テーマ：都市基盤	
<参加動機> ・成蹊学園のそばに4年間住んでいる。町のことを色々を知りたいと思い参加した。 ・市に愛着があり、面白そうと思った。仕事以外の方と話す機会が楽しそうで参加した。 ・ワークショップに参加することが趣味になっており、興味があるものには申し込むようにしているため参加した。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：個性あふれる魅力的な地域のまちづくり	
・エコreゾートでイベントを開催したらわりと人が集まった。カフェができた人が集まりそう ・中央公園の横のサイクリングロードの最終地点がエコreゾートになれば、ルートができる。商店があって買い物ができただけでなく、人が滞留でき、くつろげたり、公園で集まってのんびりできるような緑が多いスポットがあれば色々な楽しみ方ができる	・街のことに関する調査に気軽に参加する ・子どもや学生の意見・アイデアをどんどん取り入れる ・市民との情報共有について、井戸端会議のように、情報をシェアできる場所があるとよい ・武蔵野市民だという意識を持てる機会を増やす ・LINEで情報共有できる場を作る
基本施策2：将来にわたり持続性ある都市基盤づくり	
・水の自給率がすごく高いのが自慢。雨水の活用・井戸水の十分な確保が重要	
基本施策3：誰もが利用しやすい交通環境の整備	
・道路で気になる箇所があるときは、LINEで通報してみたい ・講習を受けていない人に自転車ルールをどう周知していくかが課題	・自転車交通ルールの理解を深める施策と積極的に参加できる仕組みを作る ・講習会に参加してもらうために地域振興券やLINEスタンプ、飲食店で使えるクーポンなどを用意する ・駐輪場を使ったときに目に入るようにポスターを貼り、自転車の交通ルールについて周知を徹底する ・イベントで自転車交通ルールを広報する
基本施策4：安全で快適な道路ネットワークの構築	
・古い道路だから拡張や整備が難しい ・道路の拡張や整備の予算が気になる	

	・五日市街道はバスや大型車両が通るので、自転車走行部が怖い ・歩道の歩きにくさが昔より悪化し、問題になっている ・五日市街道を通らず、どれだけスムーズかつ安全に自転車で通れるか自分なりに考えてルートを選択している ・自転車が走りやすいエリアなどを整理した情報共有システムがあるとよい ・Googleマップに、自転車が通りやすいおすすめの道やルート、駐輪場の情報共有があると便利
基本施策6：活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	
	・吉祥寺駅南口のロータリー化が課題 ・交通や歩きやすさを考慮し、時間帯や曜日を限定した「賑わい」を創出する ・三鷹駅南口は、一般車両とバス、タクシーの整理をすると良い ・武蔵野プレイスが良い
まとめ	・五日市街道などに自転車専用道路があるが、通行に不安がある。Google マップとの連携による自転車で通りやすいルートの表示や駐輪場のプロットがあると、安心して通行できるのではないかな。 ・吉祥寺駅南口のバス通りは道が狭く、危険度が高い。市として注力していると思うが、駐停車する場所の変更や利用時間の制限など何か改善ができないか。三鷹駅北口については、バスとタクシーの止め方をもう少し整理できないか。武蔵境駅については、武蔵野プレイス前の広場がとてもよく、整備されていると感じている。 ・武蔵野中央公園からむさしのエコ re ゾートまでの自転車専用ルートや歩行ルートがあり、周辺にカフェなどが併設されるとにぎわいが創出できるのではないかな。 ・気軽に市と情報共有できるような仕組みがあるとよいのではないかな。例えば Google フォームや公式LINEを活用し、気がついたことを気軽に共有できる環境を整備するのはどうか。また、まちに滞在している時間は、大人よりも子どもの方が長いので、若い方の意見を取り入れる手法を検討する必要がある。 ・自転車の交通ルールをどのように広めていくかは課題と感じている。安全講習会への参加者に地域応援券などのインセンティブを与えるなどはどうかな。

本日の感想

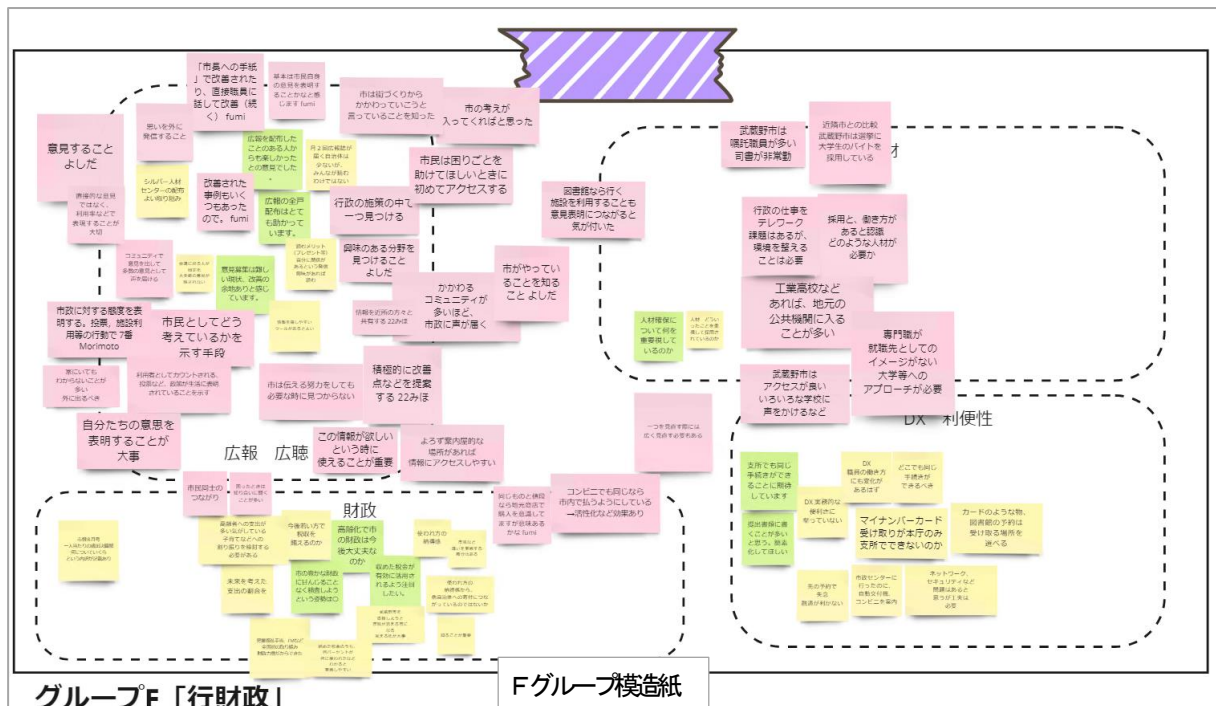
- ・このような会に参加するのは初めてで楽しかった。何か感じるどころや思うことがあっても市役所に行くことはないので、自転車マナーの悪さなど日頃感じていることを話せる場があり、非常にありがたかった。
- ・ワークショップに参加する機会は多いが、他の参加者がどのように考えているのか共有できることをいつも楽しみにしている。耳を傾けて考えを聞くことで、自分の考えも膨らむ。
- ・武蔵野市は住みたい街でわりと上位に来るし、住んでいてもいいなと感じている。持続性のある街になっていくため、インフラとITを活用した知恵でなにができるかという点が勉強になった。街を歩いていても楽しいし、自転車に乗っていても楽しい街でずっといられればと思った。



3月12日（日）Fグループ テーマ：行財政	
<参加動機> ・市から手紙が来たので参加した。どちらかに参加しないといけないのかと思い、新しい試みとしてオンラインの回に参加した。 ・「行政に関わる」「お世話になる」という認識は正直ないため、あまり興味がなかった。高齢者でも子育て中でもなく、正直ターゲットにされていない感がものすごくあった。今回このような機会があり、少しでも行政に関心を持てたり、こういう人がいるという意見を伝えられたらいいなと思い参加した。 ・手紙が来たので参加した。たまには市政に参加することも悪くないと思い参加した。 ・手紙が来たので参加した。これまで武蔵野市の方々にとってもお世話になってきたが、子どもが大きくなって市との関わりがなくなった。市営住宅に住んでいることもありお礼を言いたい気持ちと、健康面においても何か意見が言えたらと思い参加した。	
説明を聞いて感じたこと（期待や不安等）	市民の力で何ができるか等
基本施策1：市民参加と連携・協働の推進	
・市民の意見を吸い上げるようなシステムが評価できる ・市民の意見を聞く場に出てこない人からどのように意見を拾うのが難しい ・選挙の時に大学生のアルバイトを活用することで、若い人に政治意識を持ってもらうきっかけになる	・行政の施策の中で自分が興味のあることを1つ見つける ・細かいコミュニティをたくさん作り、情報収集することで市政に市民の声を反映させることができる ・市民自身が意見を表明すること
基本施策2：効果的な広報・公聴の仕組みづくりとシティプロモーション	
・月2回の市報配布 ・市報の全戸配布は役立っている ・市報を配布している高齢者は良い運動になっている ・市報の内容は、生活に関するものや興味のあるトピックであれば読まれる ・市報に懸賞をつける	・「市民と一緒に作っていく市である」というメッセージがもっと広く届いたら変わっていく ・欲しい時に欲しい情報に辿り着ける仕組みがあればもっと市に興味を持つことが増える
基本施策3：公共施設等の再構築と私有地の有効活用	
・施設の更新が適切に検討されているか気になる	・困った時だけでなく日常的に施設を使う
基本施策4：社会の変化に対応していく行財政運営	
・税金を払っている比較的年齢の高い方が、	

	今後若い方の税収で今のような潤沢な財政を賄っていけるか不安がある ・納税した税金が有効活用されているか気になる。どのようなポリシーで使用されているのか ・高齢者に対して使っているお金が多い気がする。今後のことを考え若い方や子育て世帯が使える金額を増やした方がいい ・提出書類を書くことが多いので簡素化してほしい ・本庁と同様の手続きが支所でもできるようになって欲しい ・DX推進のゴールはどこか ・マイナンバーカードの受取りで融通がきかないことがあった ・デジタル化が進めば市職員の働き方も変わる	
基本施策5：多様な人材の確保・育成と組織の活性化		
	・専門職の就職先として「自治体」のイメージがないため、大学にアプローチする ・何を重視して採用しているか興味がある ・多摩地域全体に目線を広げる ・行政の仕事はセキュリティが高いが、デジタル環境を整えていくことが大事 ・武蔵野市は嘱託職員率が高い	
まとめ	・市報が2週間に一度配布されているが、どのくらいの方が読んでいるのか疑問がある。多くの方に読んでいただくために、インセンティブをつけるなど工夫ができないか。 ・マイナンバーカードの受取りなど本庁に来庁しないと手続きができないサービスを減らしていけると、市民の利便性向上につながるのではないかな。 ・建築に関わる専門人材が少ないのが課題と感じている。市としてどのような人材を求めているのかアピールできる場があるとよいのではないかな。 ・市役所に来庁し、行政サービスを受けるのは稀であるため、どの部署でどのようなサービスが受けられるかわかるような総合案内サービスがあるとよい。	

	・市民として行政サービスを利用し、感想や改善点を市に対して意思表示することがよりよいサービスの創出につながるのではないかと。
本日の感想	・市でどんな取り組みをしているか、全く興味がなかったが、こういう取り組みを実施していると新たに知ることができ、とても有意義だった。「市民参加をしてない」と言ったが、周りを見ればできることはたくさんあって、武蔵境に素晴らしい図書館があるので、そこで1ヶ月に1回でも雑誌を読みに行くなどできればいいなという気づきになった。 ・オンラインということで、市も新しいことを始めているんだと感じた。また、オンラインでこういったグループワークができることが新鮮で、家にいるだけでは体験できないことを体験でき、大変良かった。 ・市報は読む方だが、ワークショップに申し込んだり、タウンミーティングに参加しようとは思えない。今回のような招待制はとても良い。他のグループも含め、色々な意見が聞けて、気づきがあり、充実した時間だった。 ・ワークショップに初めて参加したが、自分の住んでいる市の行政サービスを人と喋ることはないのすごく新鮮だった。行政サービスは困ったときに初めてアクセスすることが多く、利用する際に調べるのが大変。自分も多分困るんだろうなということを実感し、日頃から自分ごととして考えなきゃいけないことだとわかり、腑に落ちた。

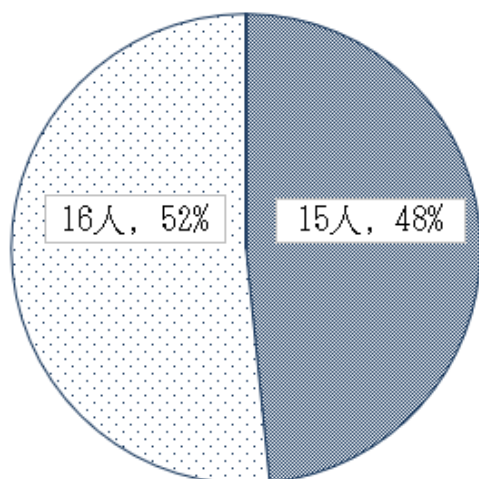


4 参加者アンケート

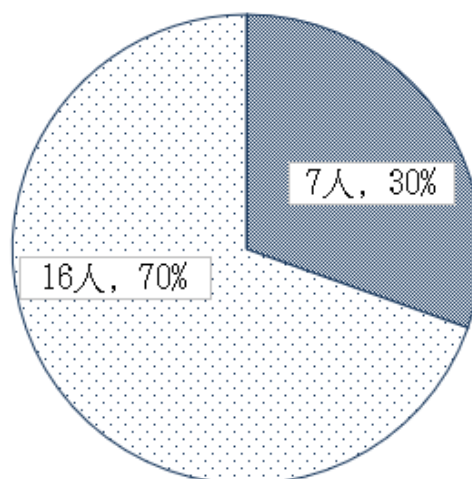
1. ご自身のことについて回答をお願いします

(1) 性別について該当するものを選んでください

3月5日



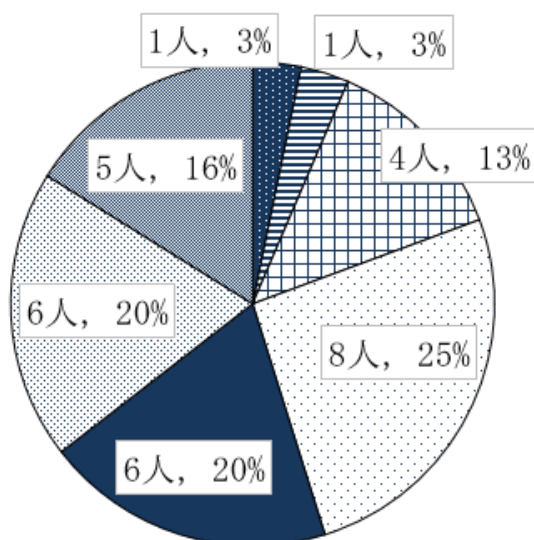
3月12日



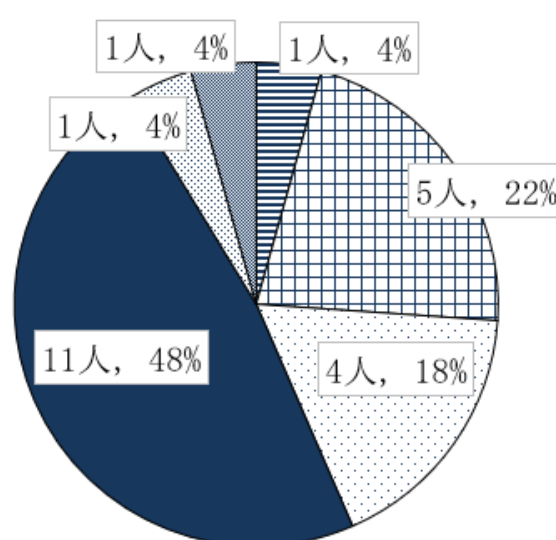
■ 男性 □ 女性 ■ その他

(2) 年齢について該当するものを選んでください

3月5日

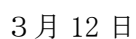


3月12日



■ 10代 ▨ 20代 ▤ 30代 □ 40代
 ■ 50代 ▩ 60代 ■ 70代以上

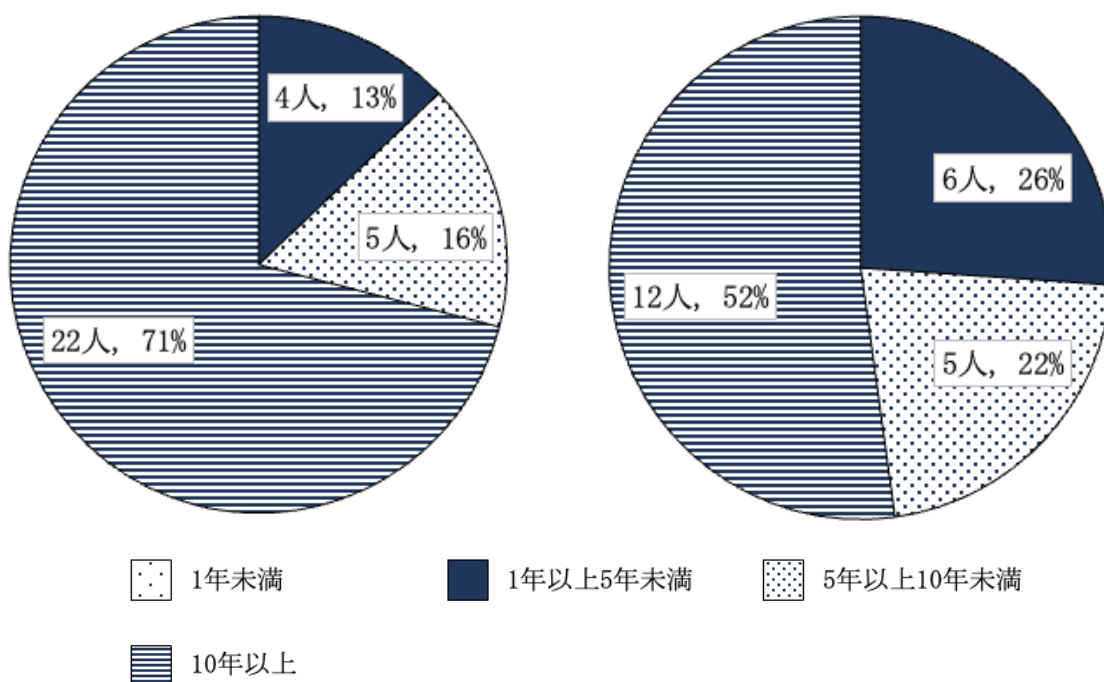
3月12日



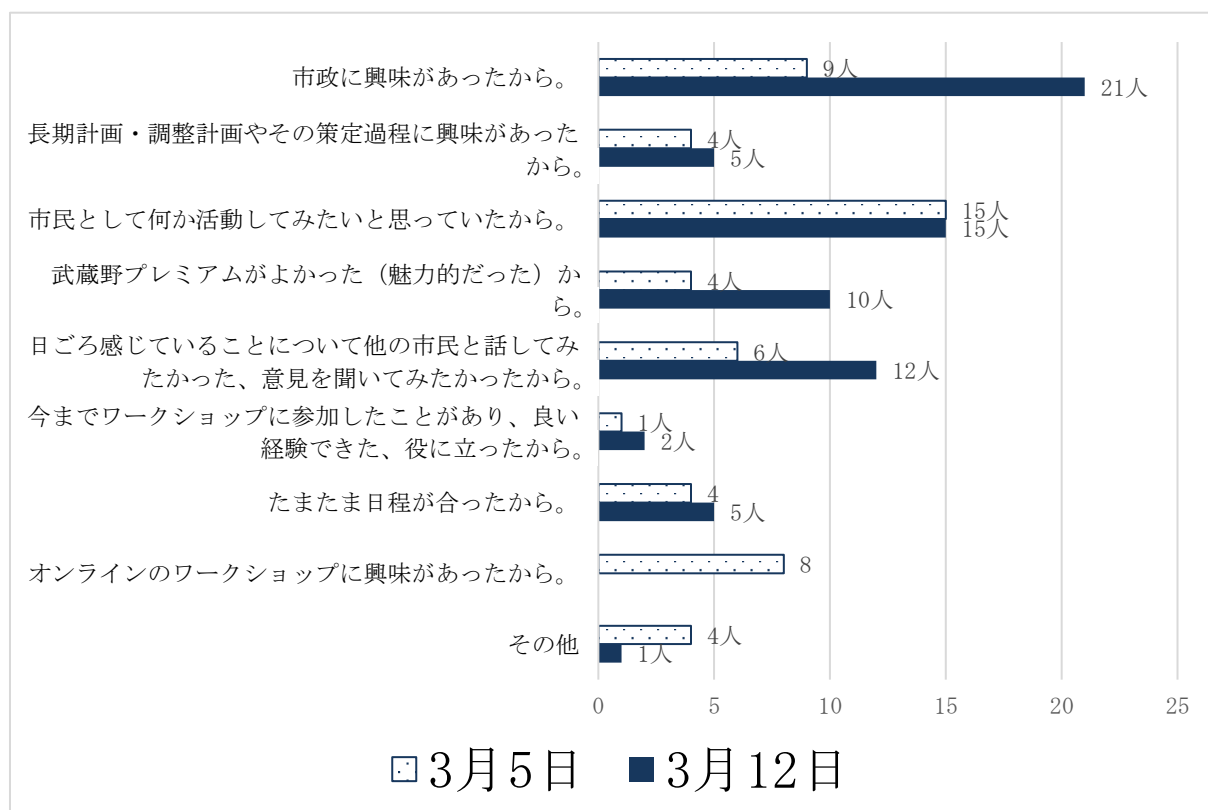
(5) 武蔵野市での居住年数について該当するものを選んでください

3月5日

3月12日



(6) 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？（該当するものをいくつでも選んでください。）

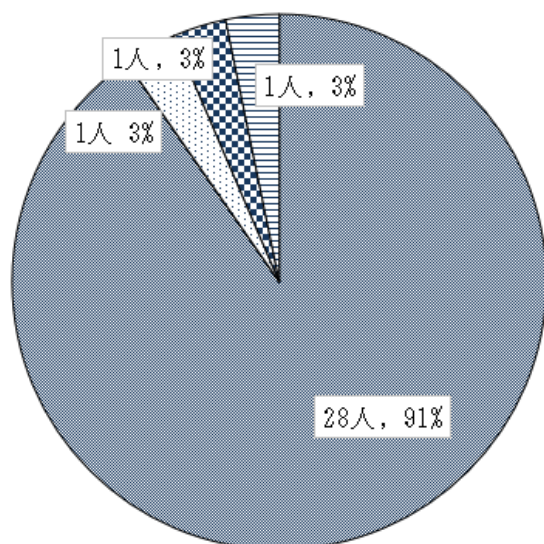


(6) その他ご意見

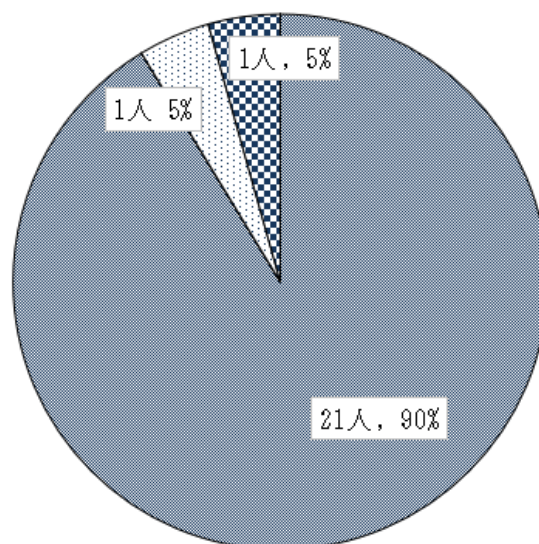
- ・ オファーをいただいたから。
- ・ 地域のことを知りたいと思った。
- ・ 手紙で依頼が来たから。
- ・ 抽選だとは思いますが、まさか外国籍住民にもこんな案内が届くと思わず、市の一員としての実感ができたのでぜひとも参加してみたいと思いました。
- ・ 案内をいただき今まで参加したことがなかったため興味をもった。

(7) 参加されたご感想をお聞かせください

3月5日



3月12日

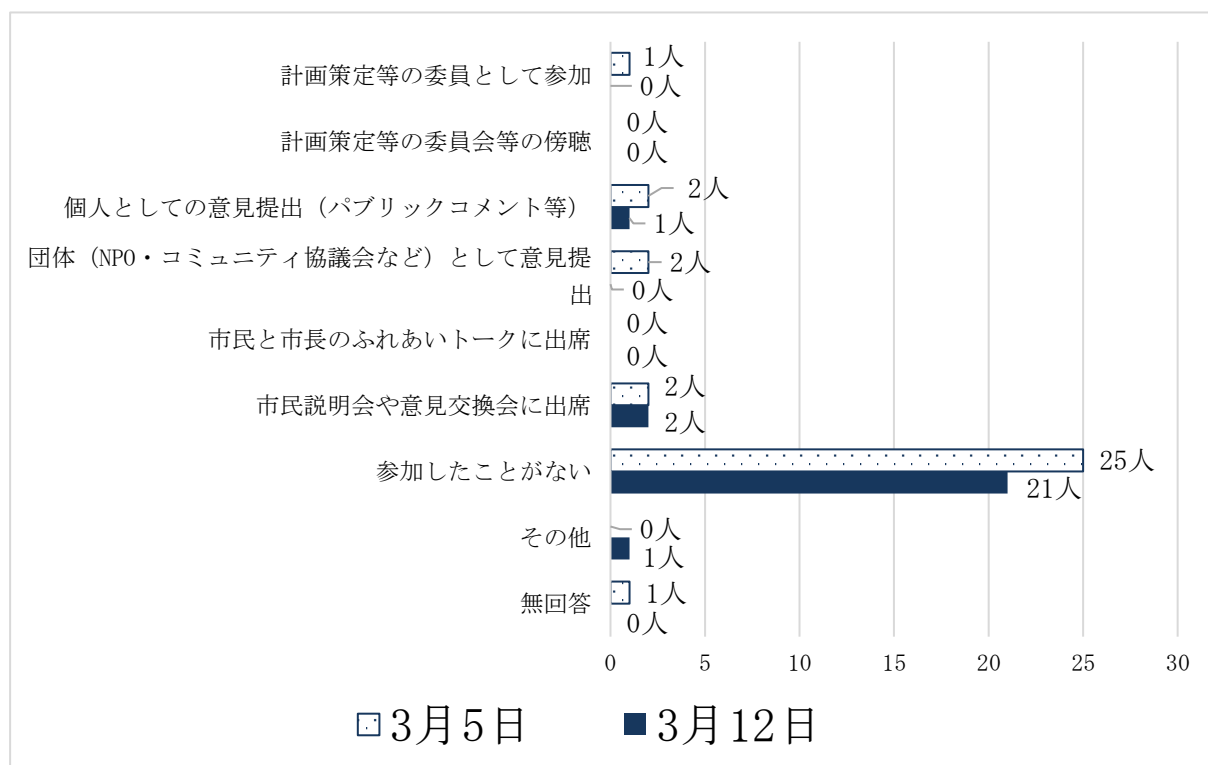


- おもしろかった。楽しかった。
- ▣ おもしろくなかった。つまらなかった。
- ▤ どちらでもない。
- ▥ その他
- ▦ 無回答

(7) その他ご意見

- ・ 他の方々より色々教えて頂き良かった。

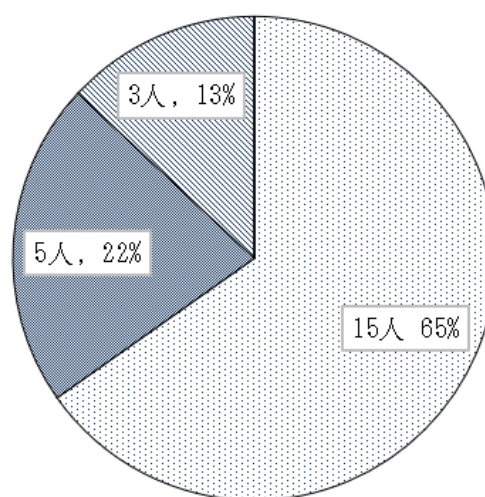
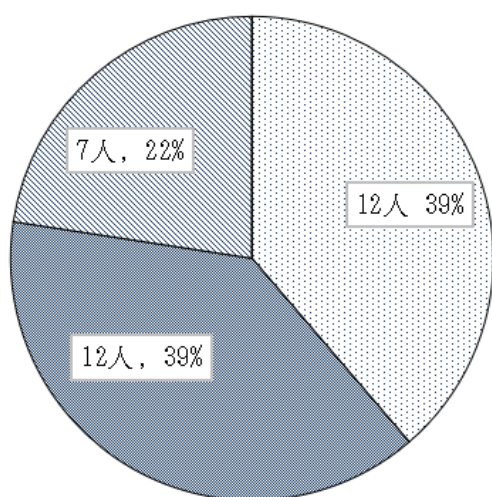
(8) これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？(複数回答)



(9) 今回のワークショップのご案内をご覧になる前、武蔵野市の長期計画や調整計画についてどの程度ご存知でしたか？

3月5日

3月12日



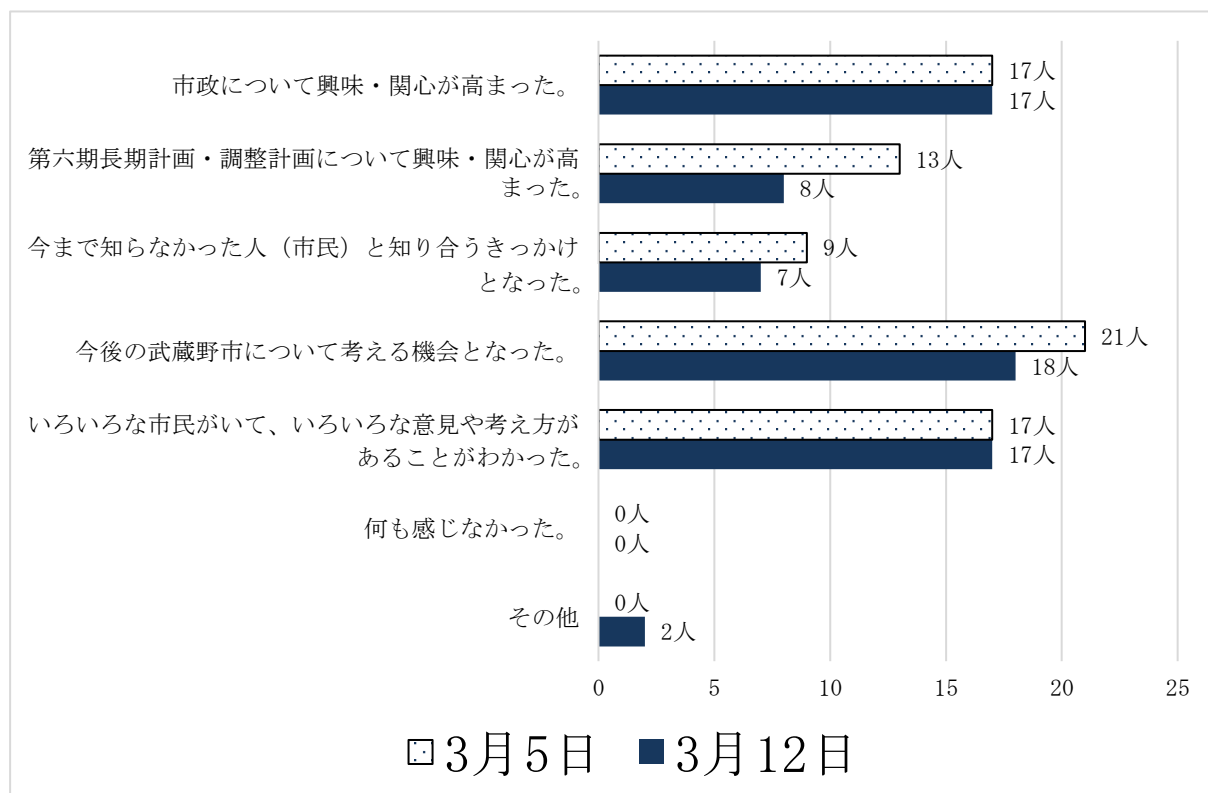
□ 全く知らなかった。

■ 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。

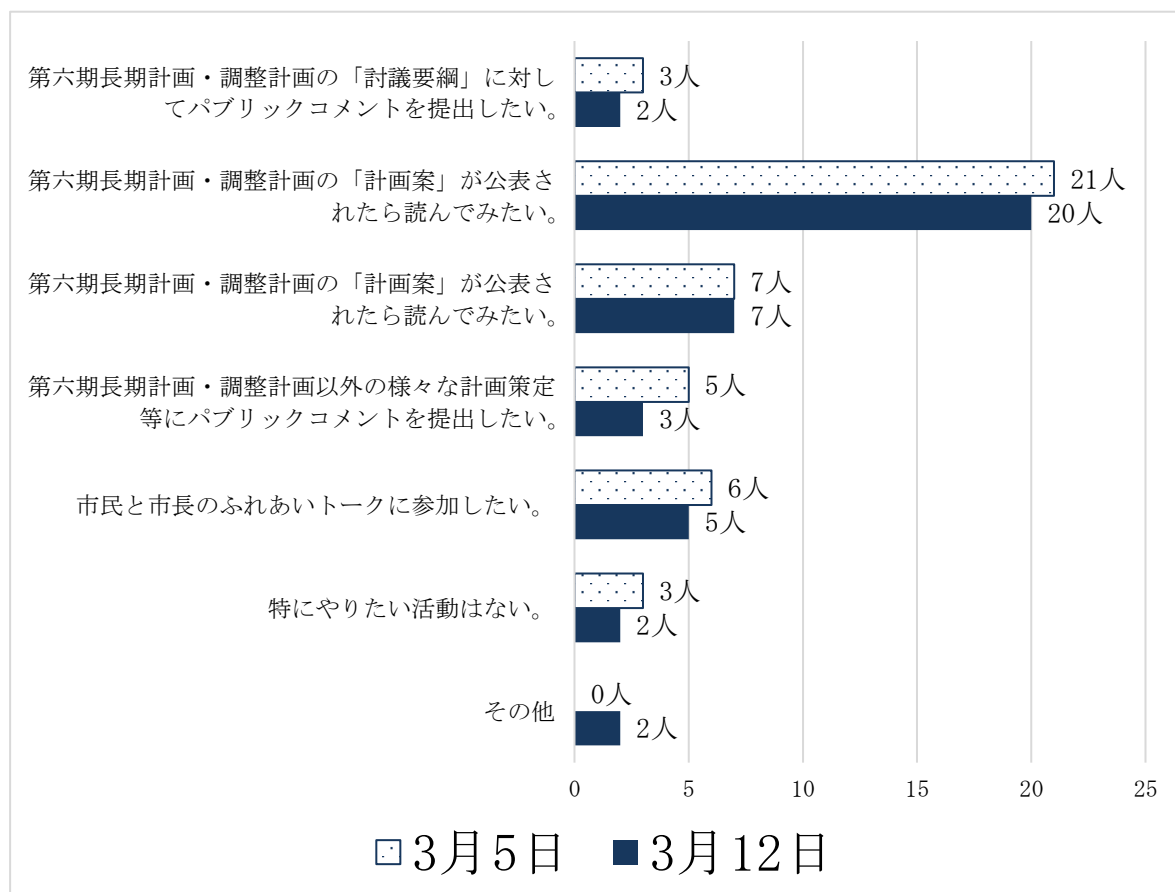
▨ 読んだことがある。

■ その他

(10) 今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？（複数回答）

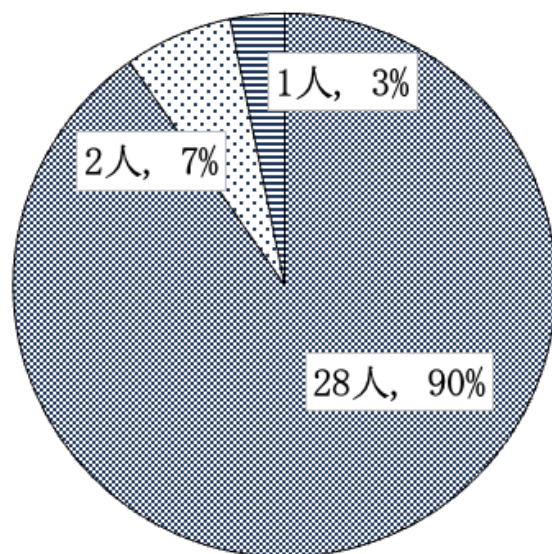


(11) 今後やってみたいと思う活動はありますか？（複数回答）

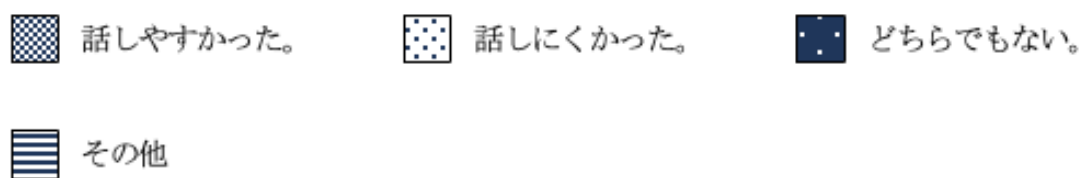
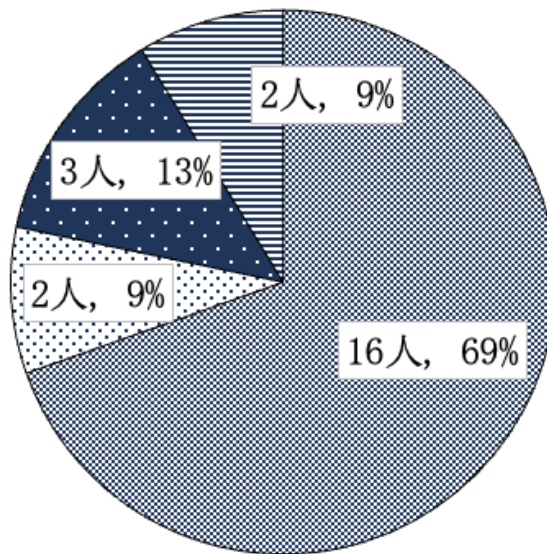


(12) ワークショップのテーマはどうでしたか？

3月5日

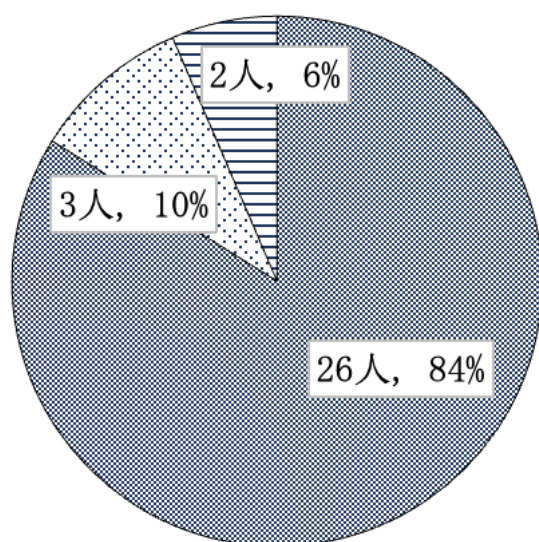


3月12日

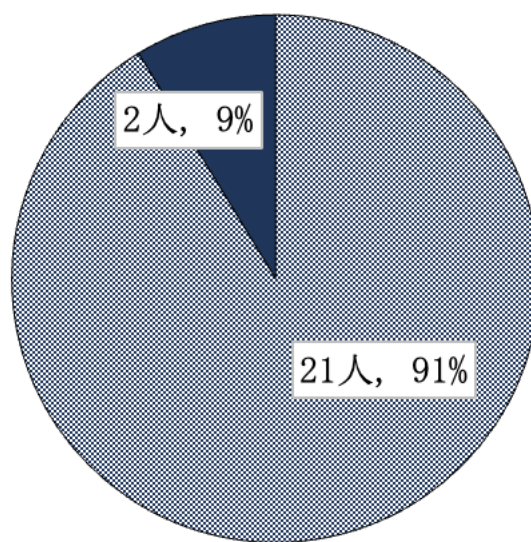


(13) 各グループトークの時間について

3月5日

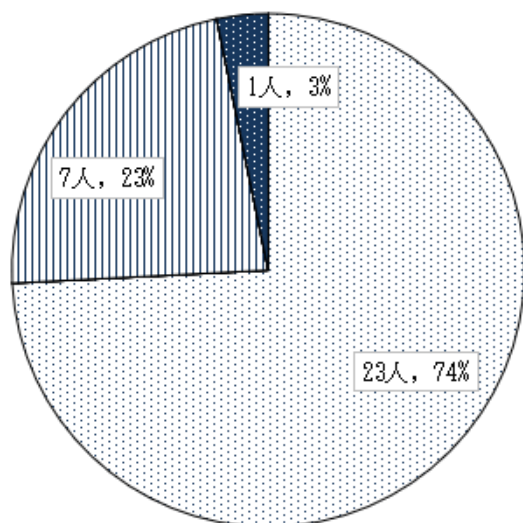


3月12日

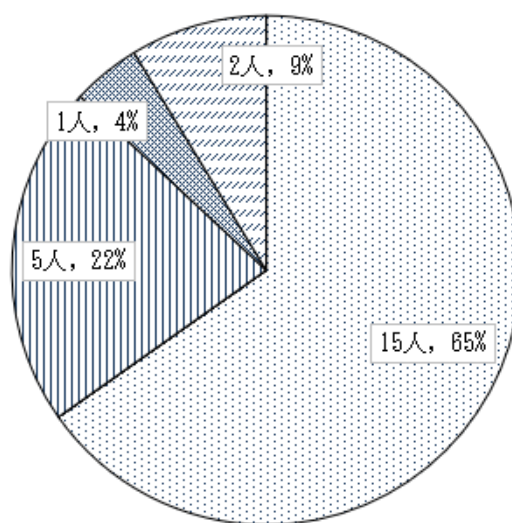


(14) ワークショップ全体の時間（13時から17時）について

3月5日



3月12日



適当

短い（午前・午後と1日実施がよかった）

長い（午前・午後と1日実施がよかった）

無回答

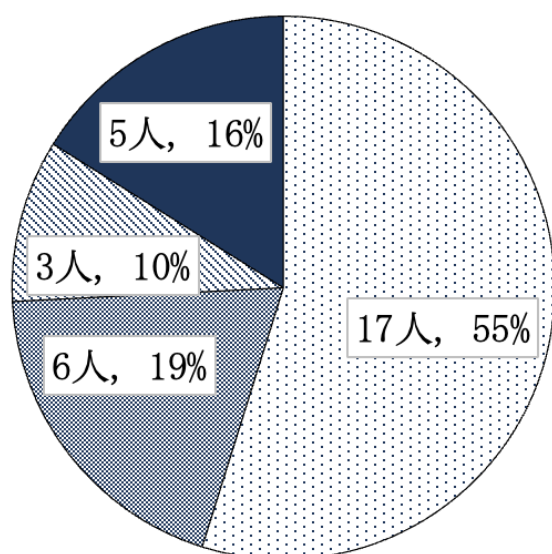
長い（2時間程度がよかった）

長い（2時間程度で2日間実施がよかった）

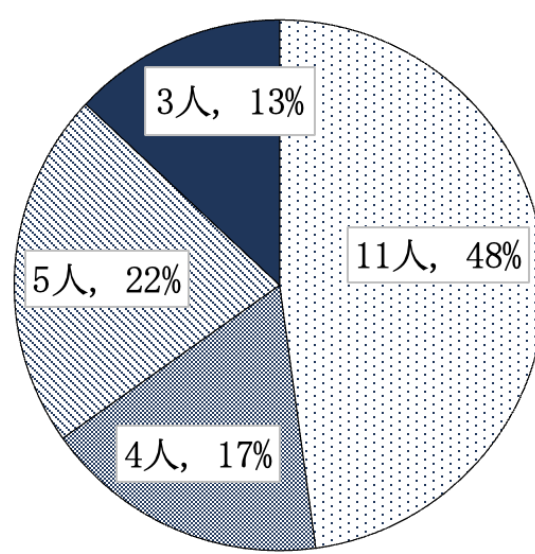
その他

(15) 今後連続型（2日間）のプログラムでオンラインワークショップを実施した場合、参加しようと思いますか

3月5日



3月12日



参加したいと思う。

どちらでもない。

参加したいと思わない。

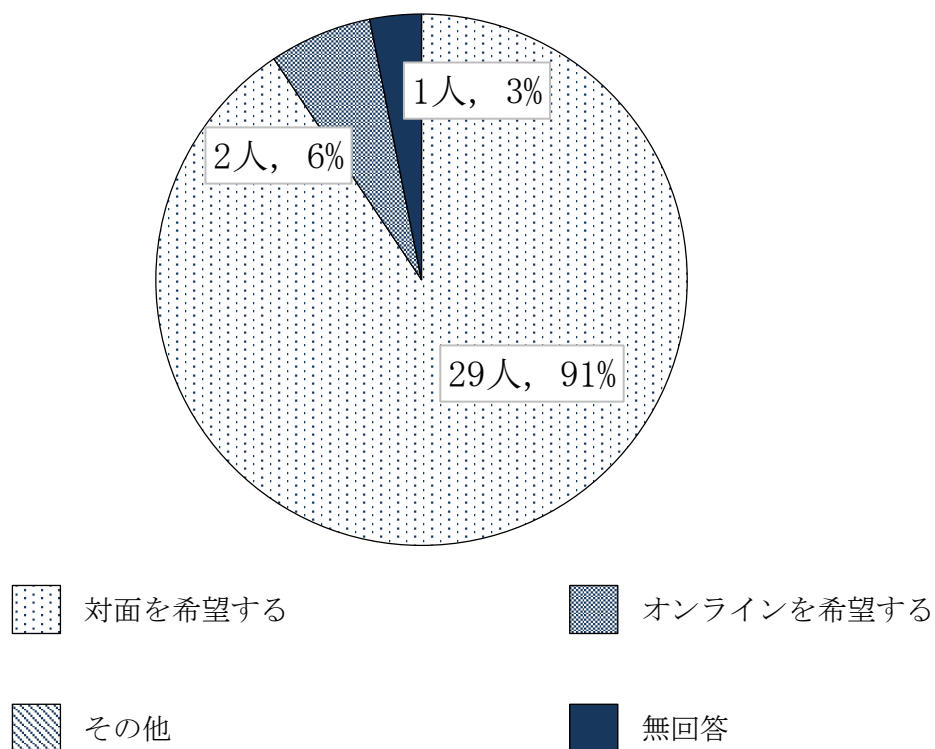
その他

(15) その他ご意見

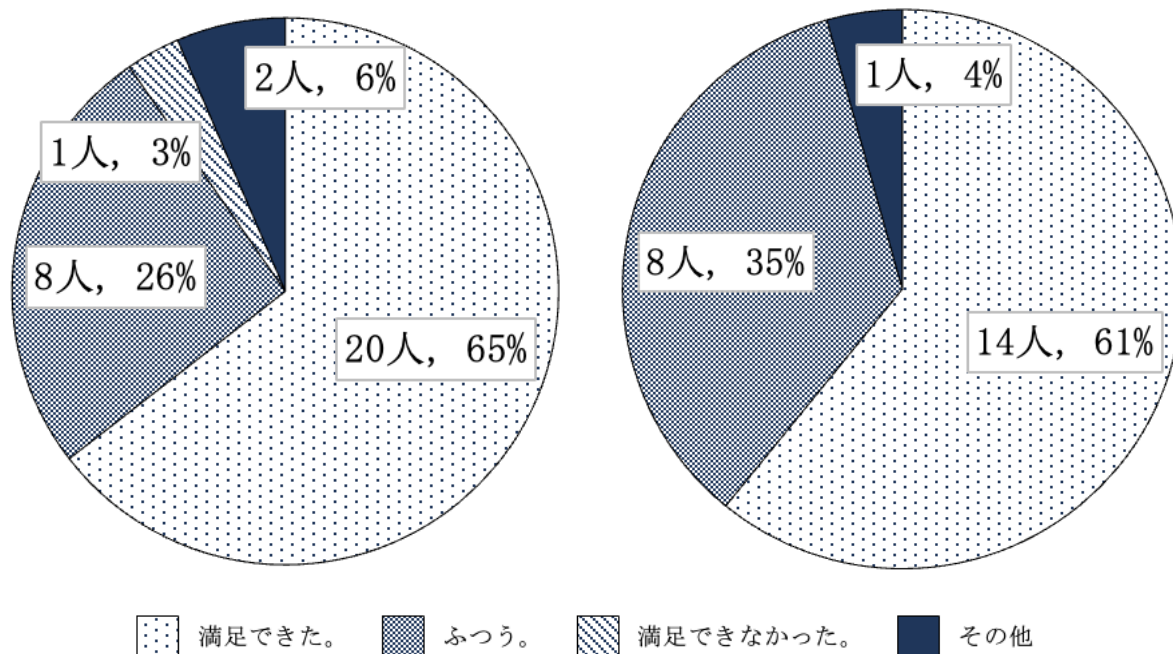
- ・日程が合えば参加したい。
- ・内容による。
- ・テーマによる。
- ・内容、プログラムによる。
- ・2日間連続だと参加することが少しむずかしくなるかもしれないと思いますが時間があつたほうがと思います。
- ・参加したい気持ちはあるが体力的に難しいかもしれない。
- ・時間があれば参加したいですが、子供がいるので現実的には2日は難しいです
- ・日程があえば参加したいです

【3/5のみ質問】

(16) 次回も参加するとしたら対面のワークショップを希望しますか。



(17)武蔵野プレミアム詰め合わせセットはどうでしたか
3月5日 3月12日

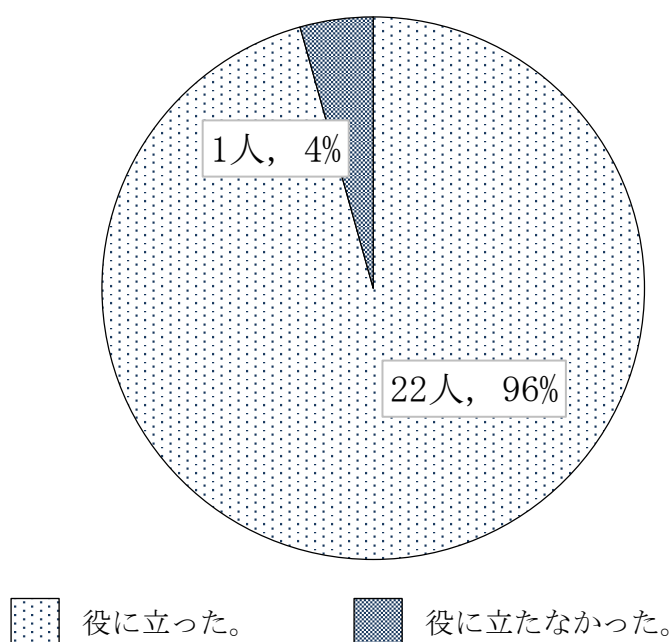


(17) その他ご意見

- ・多いほど嬉しい
- ・よく見れていません
- ・血糖値の問題で私はいただくことができませんが、家族には大変好評でした

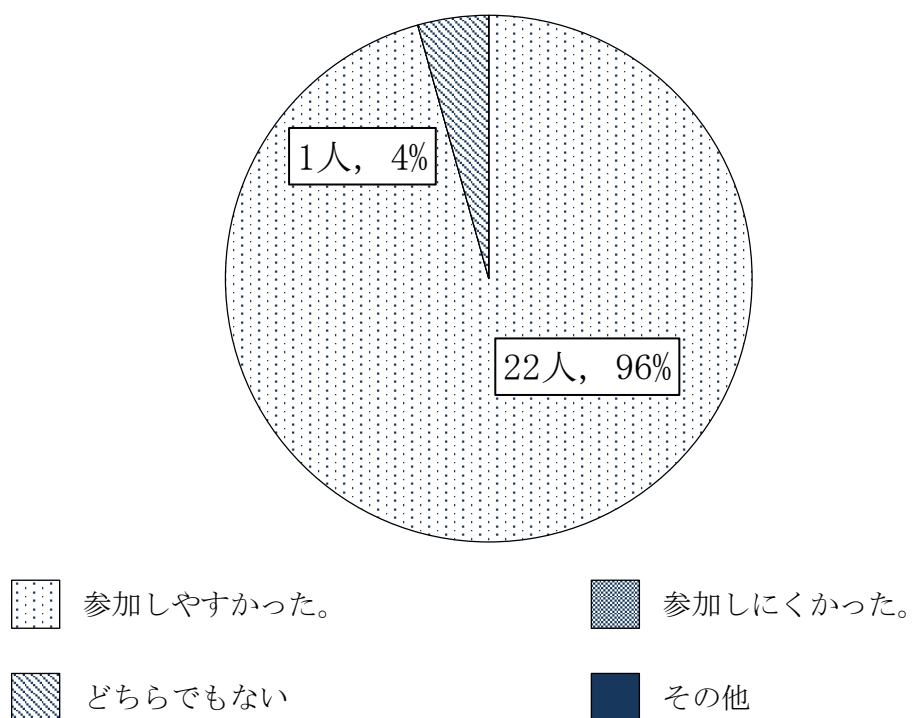
【3/12のみ質問】

(18) 事前に送付した市報2月1日号特集号や当日の参加方法などの資料は役に立ちましたか？



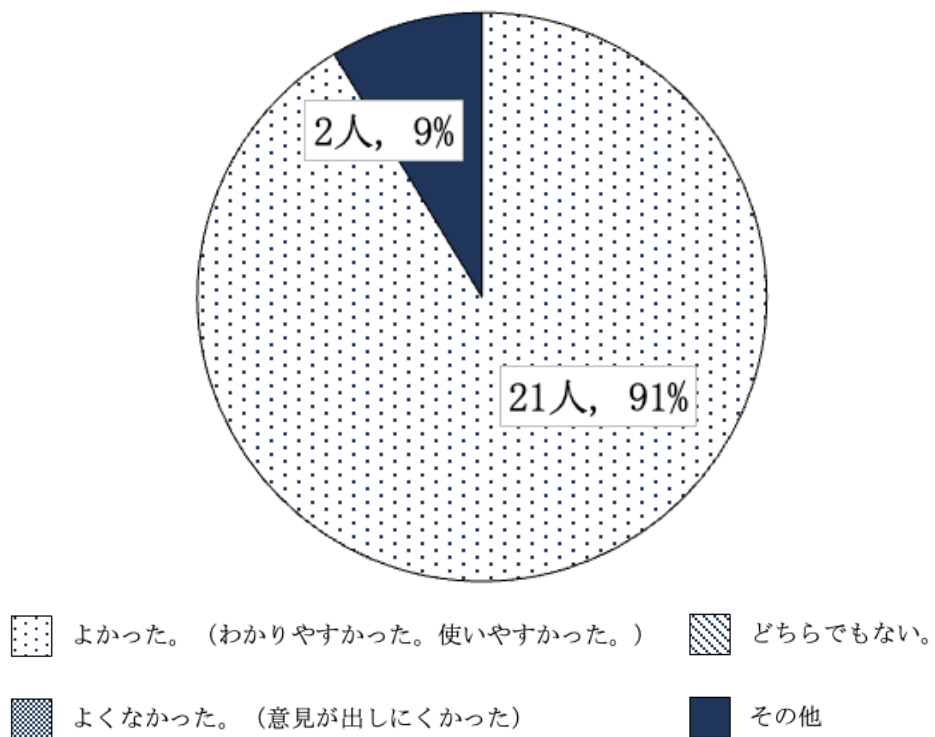
【3/12のみ質問】

(19) Zoomを使ったオンラインワークショップについて。



【3/12のみ質問】

(20) 意見入力フォームを活用した付箋について



(20) その他ご意見

- ・ 文字数制限が難しかった
- ・ まとめる方が大変では？と思った

(21) 市民ファシリテーターへのメッセージをお願いします

《3月5日実施分》

- ・ ご苦労様でした。
- ・ 市民として積極的に活動されていて、素晴らしいと思いました。グループワークは話が発散する中、ファシリテーターとして皆さんのコメントをまとめたり、発言を促して下さり、大変助かりました。ありがとうございました。
- ・ とりまとめが難しいチームだったと思いますが、意見を引き出したり、まとめたりとリードしていただき、ありがとうございました。お疲れ様でした！
- ・ 今日はありがとうございました。いろいろな情報を知ったり、意見を言えてとても学びになりました。武蔵野市が大好きなので、良い町であり続けてほしいと願っています。
- ・ 意見を上手にまとめてくださって、ありがとうございました。
- ・ さすがだと思いました。とても話し合いがスムーズに進みました。
- ・ 意見の言える場を頂き、有意義でした。
- ・ 上手な進行、とりまとめでした。
- ・ とりまとめありがとうございました。
- ・ おつかれ様でした。まとめまで短時間でできて良かったと思います。
- ・ 上手に円滑に進めて下さり、ありがとうございました。
- ・ 話しやすい環境づくり、ありがとうございました。
- ・ むずかしい役でしたが、とても良かったです。
- ・ 上手な進行でした。
- ・ おつかれ様でした！！
- ・ 誠実に平等に割り振って話を聞いて下さってありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。
- ・ とりまとめありがとうございました。
- ・ まとめるのはとても大変だと思うが、上手にリードしてくれた。
- ・ ありがとうございました！
- ・ すばらしいです！とても話し易かったです。
- ・ 本日はありがとうございました。
- ・ 話しやすい場づくり、ありがとうございました。

- ・ 多様な話題提供で気づきを得られました。ありがとうございました。
- ・ お忙しい中で大変ありがとうございました。おかげ様で楽しく議論できました。
- ・ 若干かたかったですが、発言の機会を平等にするための気配り等、大変良かったです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 今後も伝えて頂きたいと思います。

《3月12日実施分》

- ・ 取りまとめありがとうございました。おかげさまで話がしやすかったです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ おつかれさまでした。
- ・ お疲れ様でした。わかりやすかったです。
- ・ とてもスムーズに進めていただき、ありがとうございました。ファシリテーターの方の普段の活動にも興味を持ちました。
- ・ とても意見の言いやすい雰囲気で行ったです。
- ・ スムーズな進行、ありがとうございました。
- ・ プロっぽくないところが逆に良かった。そのおかげで、思いつくことを気にせず書けた。
- ・ この度は初対面の様々な人の取りまとめをありがとうございます。お陰様で進行がスムーズに進み感謝しております。
- ・ お疲れ様でございました。進行がお上手で感心しました。
- ・ 丁寧に誠実に対応されていた。不慣れな面がありましたが、まとめ方はうまかったです。
- ・ まとまりにくいテーマについて仕切ってくださいありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・ 分かりやすかったですし、安心して参加できる雰囲気を作ってください、感謝しています。時々クスッと笑っちゃうユーモアも楽しく参加できたことにつながったと思います。ファシリテート、お疲れさまでした！！
- ・ とてもてきぱきと進行していただき、初めてでも参加しやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 一般市民の方がファシリテーターをしているとは驚きでした。ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました！
- ・ 今日はありがとうございました。「Meet むさしの」は拝見したことありました。赤い椅子プロジェクトのことも、どこかで記事を見た記憶があります。同じ地域に住む者として刺激になりました。またどこかでお会いいたしましょう～。
- ・ 話しやすい空気を作ってください、議論がしやすかったと思います。ありがとうございました。

- ・ とても親しみやすい進行で大変良かったです。（他のワークショップでは専門のコンサルタントの方だったので、それはそれで、プロっぽくて良かったのですが）
- ・ お疲れ様でした！いい感じでした。
- ・ 中立的ででも発言しやすい雰囲気を作ってくださっており、助かりました。ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。慣れない中で、ワークショップを懸命に進めていただきました。今後も回数を重ねて、より良いワークショップを作り上げてください。準備も相当大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。とても有意義で楽しいワークショップをありがとうございました。
- ・ おそらくボランティアではないの？と思うのですが、ご苦労様です。

(22) 今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください。

《3月5日実施分》

- ・ また別のテーマでも参加させていただきたいと感じました。
- ・ ワークショップで具体的に何を話せばよいかが、最初は不明瞭だった。具体的なアウトプットのイメージなどの説明があるとより良かった。
- ・ ワークショップで話すべき内容とアウトプットのイメージをもう少し明確に提示していただけると話しやすかった。
- ・ 事前の希望調査で、希望テーマを3つ選んだが、第1希望から第3希望までを選べるようにした方がよいと思った。せっかく参加するので、関心の高いテーマを話したい。
- ・ 参加してよかった。普段は1日の生活でいっぱいなので、話し合いに参加できて新鮮でした。託児も助かりました。
- ・ 第1希望のテーマに入れなかったのが残念でした。（番号つければよかったです）
- ・ 思っていたよりも自由に参加でき、意見交換できて面白かったです。
- ・ 同じ武蔵野市住民でも住んでいる地域によっていろいろな意見があり、異なることがわかりました。
- ・ 各グループ共通として市の広報が重要で、もっと柔軟なやり方をとり入れるべきかと感じた。
- ・ 市職員と一緒に市をよくするためになにができるか考えることができ、とても貴重な機会でした。どこまで自分の意見をくみとって頂けるかはわかりませんが、参加できたことで、今後の市の動きに目を向けていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 色々な視点から、「生きた政治」「社会」について考えられて楽しかったです。ありがとうございました。

- ・音が反響するのか、人数に対して部屋がせまいのか、各グループの距離が近いのかわからないが、グループ内での声が聞きづらかった。
- ・情報発信と市民の情報収集の方法を工夫していくことが大事とわかりました。
- ・色々な年代の方々と話でき、有意義だった。
- ・一番きたない町の中をきれいにする活動をしています！
- ・参加された方のキャラクターが濃くておもしろい。
- ・市で考えていること、策定していることについて、思いのほか知らないことが認識できた。もう少し、自分から興味を持って、情報を取りに行きたい。
- ・テーマ説明について、トピックは理解できたが市における課題がわかりにくかった。
- ・前向きな市民が多いことを感じられてうれしかったです。
- ・とても勉強になりました。

5 市民ファシリテーターについて

(1) 参画状況とその効果

本事業実施においては、9名の市民ファシリテーターの方々にご協力いただきました。その中でも、令和4年8月に開催した市民ワークショップに参加された方が興味をもち、新しい市民ファシリテーターとして2名の方が参画してくださった点が特徴と言えます。

今回は、オンラインと対面のそれぞれの開催となりましたが、参加者アンケートの結果からも市民ファシリテーターの参加意義は大きく、両回とも、話しやすい雰囲気作りや、スムーズな進行に大きく貢献していることがわかります。

また、今回新たな市民ファシリテーターが参画した点においても市民活動の機会提供の1つや市政に関心を持つ一助にもなると言えます。ワークショップを通し、市民参加の一步として今後、市民ファシリテーターを希望・学べる選択肢を準備しておくことも重要であると考えます。

(2) 運営スタッフ（市民ファシリテーター、記録係）アンケート結果

1. 参加日時

2023/3/5のみ	1名
2023/3/12のみ	6名
両日	7名

2. 役割

グループファシリテーター	8名
メインファシリテーターとグループファシリテーターを両方	1名
記録係	5名

3. 今回の対面ワークショップに運営側として参加してよかったですか

とてもよかった	9名
よかった	6名
どちらとも言えない	0名
よくなかった	0名

4. 3の回答の理由を教えてください（自由回答）

- ・ 市民ファシリテーターを行うことで市政に参加し、市職員の皆さんと連携し、意見を交換する潤滑油になれていると実感できるから。
- ・ オンラインワークショップがどのようなものか体験できてよかったです。
- ・ 同じ市民の方々からたくさんの気づきを頂けるので、とても楽しいです。
- ・ やったことがなかったファシリテーションの経験を積めた。
- ・ 一般的なファシリテーターと、普段私たちが行っている対話型絵画鑑賞におけるファシリテーターの役割とテクニックなどの違いを確認したかったので参加しました。
- ・ 市民の方と市の課題について、議論する場を持てたから。
- ・ オンラインワークショップに初めて参加できたこと。新しいツールも使用でき、今後の会議等の開催に向けて良いヒントとなった。
- ・ 初めてのシステムを使用できたこと。また、そのシステムが他の場面でも利用できそうなこと。
- ・ 参加者は無作為で抽出されるため、積極的に市に意見を言いたい方とは違う方から意見が聞けて参考になるため。
- ・ オンラインワークショップは初めてだったので、オンラインならではの難しさや良い部分を知ることができた。
- ・ 市政へ参加できている実感があり、市民意識がより高まりました。
- ・ 繋がる出会いや新しい出会い、気づき、新たなスキルを積む場をいただき貴重な体験となった。
- ・ 市民の様々な意見を聞くことができた。
- ・ 微力ながら、市に貢献できたと思うため。

5. 同じワークショップを対面とオンラインで行いましたが、運営面でよかったと思うところがあれば教えてください

- ・ 今回は対面だけの参加でしたが、参加者の様子を見ながら盛り上げることができ、ファシリテーターも参加者も充実感があつた。
- ・ 人による部分ですが、参加の敷居が低いと感じてもらえていたようです。
- ・ 市職員の方々と運営支援事業者の方々が細かいところまで配慮してくださるので、運営はスムーズで全く問題ないと思います。
- ・ 初めてファシリテーターをしたが、スムーズに行えた。オンラインに関しては対面より幅広い世代に参加いただいていた。各分野の市職員が同席することは、市民の声を実感を持って受け止めることにつながるため。
- ・ LINEの情報網を使うということ。

- ・ 昨年実施したオンラインでの課題に対して、しっかりと対応し、改善されていた点良かった。
- ・ オンラインしか参加していませんが、若い世代が参加しやすいのが良かったと思います。
- ・ 両日とも大きなトラブルなくスムーズな進行であった。
- ・ オンラインであっても大きなトラブルや混乱はなかった。
- ・ 対面とオンラインどちらも開催できたのは、多様な層にリーチする上でとてもよかったと思いました。
- ・ オンラインの参加者が少なかったが、やはり対面・オンラインの両方が実施されたことが良かったと思います。
- ・ 対面だから参加した方、オンラインだから参加した方、それぞれいらっしゃったので、両方開催するのが良いと思う。

6. 運営面での改善点があれば教えてください。

- ・ 参加者から「希望のテーマの照会は3つではなく 第1希望から第3希望を書く形にしてほしい」と要望があった。
- ・ スタッフの事前準備が必要であるため、なるべく今後使うツールを共通化するなど工夫ができると思います。
- ・ 運営面では特に問題ないです。
- ・ 対面は、机が多く感じ、付箋の操作に苦労した。 オンラインでは、Miro の操作に加わりたかった。
- ・ 進行表の表現を工夫すれば時間【帯】が表現できるので、最初と最後の時間が把握しやすい。
- ・ テーマが広いこと、課題と論点の書き方があいまいなことから、議論が浅くなる傾向があった。議員などからの批判を避けるため、無意識のうちに課題をあいまいにすることが行政にはあるのかとも思うが、課題があることは決して悪いことではないので、しっかり数字と合わせて提示し、市民から意見を求めるとより建設的な議論ができると思った。
- ・ 論点が多いところは、少し絞れていた方がより良かったと思います。
- ・ 事前の打ち合わせが対面の内容にやや偏っていた。
- ・ 記録係とグループファシリテーターの間で事前に打ち合せや顔合わせをしておけるとよりスムーズに対応できたと感じる場面が多々あった。記録係(職員)に頻繁に質問が飛んでくるので、記録(Miro での付箋作成など)に集中できなかった。記録係を2名にするか、職員以外の方が記録係を行うのも良い気がした。

- ・ 仕方がないことですが、参加者の直前のキャンセルやドタキャンを極力防止できる仕組みがあるともっとよいと思いました。（前日のリマインド連絡など）
- ・ 久しぶりのオンラインで抜けていたこともあった。今回はサポート参加だったため落ち着いて対応する時間があったが、メインファシリだったらかなりドタバタしてしまったと思う。オンラインの事前打ち合わせもしっかりとした方がスムーズに対応できると思いました。
- ・ 振り返りの時にも出ていたが、もう少しオンラインワークショップに向けた打ち合わせがあった方が良かった。
- ・ 当日の反省会でも出た意見だが、オンライン向けの事前打ち合わせを一度したほうが良かった。

7. 今回のワークショップの企画（プログラム、テーマ設定、事前打合せなど）について、良かった点や改善点など、ご感想・ご意見をお聞かせください。

- ・ テーマ毎の職員の説明部分は、テーマの課題と論点というより、テーマの詳細と現状という書き方にするとよかった。また、テーマによってピンク色の付箋が書きにくいことなどがあり、付箋の書き方についてももう少し議論する必要があったと思った。
- ・ オンラインでは、グループワークが終わると付箋が見られなかったのも、発表者は見たかったと思います。
- ・ オンラインではMiro の操作をもっと習得したい。
- ・ 討議要綱と事前説明（ほかグループ含む）を比較すると、論争的なテーマについてはワークショップではあまり議論が起こらないように設定されていると感じた。そのため、どのグループも多くの人が同意しやすい意見を出し合う傾向にあったと思う。必ずしも悪い事ではないが、市政や基本計画に対して市民の意見を反映するという点では、十分ではないと思えた。また、基本計画や討議要綱は策定委員の意向が反映されていると思うが、策定委員の多くは学識者であり、どのような見解を持っているかが事前に分かりやすい人たちなので、基本計画や討議要綱に行政の意向を盛り込むことは可能であると思われる。基本計画の策定プロセスに関心が湧いた。討議要綱やワークショップのテーマ設定に関しては、市民の意見をボトムアップに取り入れるという体裁をとりつつも、行政からのトップダウンの側面があるように感じられ、このバランスについては透明性を持たせるべきだと思う。
- ・ 討議要綱とより連動したパワポが表現で事前配布があると良いのかなと思いました。
- ・ Miro の文字フォントの調整は改善点だと思います。
- ・ 事前の打ち合わせの時間をしっかり取ってくださっていたので、あまり不安を感じずに参加することができました。
- ・ テーマごとの基本施策が多かったと感じた。

- ・市が市民から意見を聞きたいところをもう少し明確に打ち出したテーマでもよかったのではないかと思います。

8. 新たなファシリテーターの養成など、今後の市民参加についてのアドバイスや考えがあれば教えてください。

- ・ワークショップ本番までに時間をとって何回も打ち合わせすることは、職員の皆さんにとっても市民ファシリテーターにとっても手間ではあるが、一緒に作り上げているという実感や責任、覚悟ができるので、今後も続けてもらえると良いと思う。メインファシリやグループファシリがマンネリにならないように常に新しいメンバーを投入していくことで緊張感もあり、視野が広がり、スキルも向上すると思う。無作為抽出ワークショップだけでなく他の部署や会議にも市民ファシリが活躍できるように、会議のたびに参加者に呼びかけたり、市民ファシリテーター募集などのチラシを配布するなど、年に2回くらい研修の機会を設けられると良いと思う。
- ・未来塾をまたやりましょう。
- ・聞く力と伝える力を試していく、実践とコーチングの繰り返しが良いかと思います。文句だけ言う市民は減っているように思い、むしろ、現役世代は、フラットに市をよくしようと考えているように思う。また、業務スキル、思考レベルも相応に高いので、ワークショップで意見を出させて終わりではなく、地方創生に取り組む地方の自治体のように、課題単位で募集し、プロジェクトで職員と一緒に課題解決をさせるのが良いと思う。
- ・10～30代の若い世代の市政参加を促せる取組みをぜひお願いしたいです。今回のワークショップについても、特に市民の力でできることを若い世代の方たちが柔軟に考えてくれる印象があり、これからを担う方々にぜひ参加してほしいと思いました。
- ・未来塾のようなファシリテーター養成講座の実施。
- ・ワークショップに参加された市民の中から、興味のある方を募るのが良いと思う。

9. 今後、同じような機会があれば参加したいと思いますか。

参加したい	9名
どちらとも言えない	5名
参加したくない	0名

10. その他、ご意見等がございましたらご自由にお書きください

- ・総じて参加してよかったと感じました。貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。参加者としての参加含めて計3回参加しましたが、いずれの回も市民に情報を届けることが一番の課題として挙げられたと思います。そのため、次回以降の基本計

画では1つの分野として扱うくらいの温度感があってもよいと思います。昨今SNSなどで、政治的な意向からか武蔵野市政に対する強い批判を観測することがあり、市外の人がそれに加わっていると感じています。武蔵野市がこのような全国的な政治論争が行われる場になってしまうこと（主張内容の是非とは全く別に）、恐怖心があります。

（例えば、不動産会社のYouTubeに投稿された武蔵野市の魅力をPRする動画のコメント欄に差別的なコメントがされるなどの現象が見られ、不動産価値の低下という直接的な被害につながる恐れすらあります）これらのことへの対策としても、情報発信（市外に対しても含む）は極めて重要なことと考えます。

- ・ グループのメンバーがすべて女性だったことを参加者自身が気にされていた。子ども教育の分野はまだまだ男性の興味がないのかなと言った発言もありました。

6 添付資料

(1) 案内チラシ

武蔵野市 第六期長期計画・調整計画 市民ワークショップのお知らせ

聞いて 語って 未来をつくる

3/5 3/12
対面 各日 13:00-17:00
オンライン 各日 13:00-17:00

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

詳細・申込方法は裏面へ

未来の武蔵野市について一緒に考えよう!

第14 未来の武蔵野市をつくる長期計画の作成について、市民の皆さんからのご意見を伺い、未来の武蔵野市をつくる。

～当日の流れ(予定)～
13:00 ワークショップスタート
13:10 グループワーク①
14:00 休憩
15:00 グループワーク②
16:00 自由参加
17:00 ワークショップ終了

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

申込方法
申込書からの場合
申込フォームからの場合

問合せ
武蔵野市総合政策課企画調整課
TEL 042-60-1801
E-mail SEC_KOKA@city.musashino.lg.jp

(2) 事前送付物

ア. 【3月5日_対面】結果通知書

武蔵野市 第六期長期計画・調整計画 市民ワークショップのお知らせ

聞いて 語って 未来をつくる

3/5 3/12
対面 各日 13:00-17:00
オンライン 各日 13:00-17:00

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

詳細・申込方法は裏面へ

未来の武蔵野市について一緒に考えよう!

第14 未来の武蔵野市をつくる長期計画の作成について、市民の皆さんからのご意見を伺い、未来の武蔵野市をつくる。

～当日の流れ(予定)～
13:00 ワークショップスタート
13:10 グループワーク①
14:00 休憩
15:00 グループワーク②
16:00 自由参加
17:00 ワークショップ終了

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

申込方法
申込書からの場合
申込フォームからの場合

問合せ
武蔵野市総合政策課企画調整課
TEL 042-60-1801
E-mail SEC_KOKA@city.musashino.lg.jp

武蔵野市 第六期長期計画・調整計画 市民ワークショップのお知らせ

聞いて 語って 未来をつくる

3/5 3/12
対面 各日 13:00-17:00
オンライン 各日 13:00-17:00

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

詳細・申込方法は裏面へ

イ. 【3月12日_オンライン】結果通知書

武蔵野市 第六期長期計画・調整計画 市民ワークショップのお知らせ

聞いて 語って 未来をつくる

3/5 3/12
対面 各日 13:00-17:00
オンライン 各日 13:00-17:00

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

詳細・申込方法は裏面へ

未来の武蔵野市について一緒に考えよう!

第14 未来の武蔵野市をつくる長期計画の作成について、市民の皆さんからのご意見を伺い、未来の武蔵野市をつくる。

～当日の流れ(予定)～
13:00 ワークショップスタート
13:10 グループワーク①
14:00 休憩
15:00 グループワーク②
16:00 自由参加
17:00 ワークショップ終了

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

申込方法
申込書からの場合
申込フォームからの場合

問合せ
武蔵野市総合政策課企画調整課
TEL 042-60-1801
E-mail SEC_KOKA@city.musashino.lg.jp

武蔵野市 第六期長期計画・調整計画 市民ワークショップのお知らせ

聞いて 語って 未来をつくる

3/5 3/12
対面 各日 13:00-17:00
オンライン 各日 13:00-17:00

参加特典
おまけのプレミアム詰め合わせ

詳細・申込方法は裏面へ

ウ. 希望テーマ

[illegible]

(3) 当日配布物

ア. 自己紹介シート

グループワークで話すこと

自己紹介からスタートします。以下の4点について全員にお話いただきます。

自己紹介

- ① お名前orあだな
- ② 住んでいる地区
- ③ 今回の参加動機
- ④ ↓どれか1つ

武蔵野市の好きな場所

最近あった嬉しい出来事

好きな動物とその理由

生まれ変わったら何になりたい？

イ. 武蔵野プレミアム詰め合わせセット

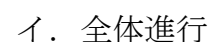
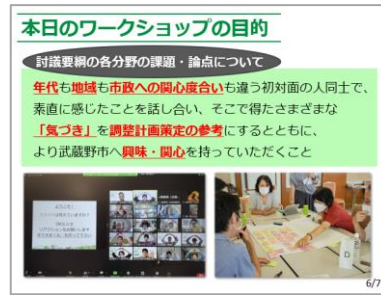
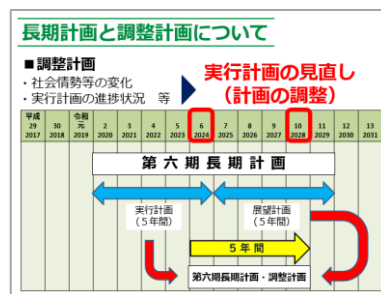


【3月5日 対面】



【3月12日 オンライン】

ア. 第六期長期計画・調整計画



ぜひ、楽しみながら
ご参加いただければと思います。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【3月5日_対面】



(4) 投影資料 ア.武蔵野市資料

聞いて 語って 未来をつくろう！ グループワークについて

グループワークに入ったら

- ・グループには皆さんがお話をしやすいように「**グループのファシリテーター**」がいます。
 - ・ファシリテーターの司会・進行に沿って意見交換をしていきます。
 - ・グループではまず自己紹介から始めます。
 - ・グループごとに話し合う「**テーマ**」が異なります。
- テーマについて市職員から説明があります。
- ※皆さんのご意見はICレコーダーで記録をしていきます。

グループワークで話すこと

自己紹介からスタートします。以下の4点について全員にお話いただきます。

- 自己紹介
- ①お名前orあだ名
 - ②住んでいる地区
 - ③今回の参加動機
 - ④↓どれか1つ

武蔵野市の
好きな場所

最近あった
嬉しい出来事

好きな動物と
その理由

生まれ変わったら
何になりたい？

グループワークのテーマ

グループ	テーマ
A	健康・福祉分野の主な課題や取組み
B	子ども・教育分野の主な課題や取組み
C	平和・文化・市民生活分野の主な課題や取組み
D	緑・環境分野の主な課題や取組み
E	都市基盤分野の主な課題や取組み
F	行財政分野の主な課題や取組み
G	子ども・教育分野の主な課題や取組み

グループワークで話すこと

- ①各テーマに関する市職員の説明を聞いて感じたことをポストイットに書いて共有しましょう。

(例)「〇〇の取組みは期待できる」
「◇◇が不安だ」など



グループワークで話すこと

- ②より良くするためにどのような取り組みが必要か考えます。

(例)「〇〇を行った方がよい」
「△△のような工夫ができないか」
「◇◇をすればよくなるはず」など

グループ毎に発表します

- ③どのような議論があったかグループ毎に発表します。

- ◆発表いただきたいこと
- ・担当した分野について
- ・どのような議論があったか
- ・特にどの項目が参加者の関心を集めていたか

今日のポイント

- ・武蔵野市の未来をつくる重要な計画づくりの各テーマについて広く意見をお聞かせください。
- ・そして「まちをより良くするためにどのような取り組みができるか」一緒に考えましょう！



3つの約束

今日のワークショップを円滑に進めていくため、**3つの約束**をご案内させていただきます。

- ①人の話は**否定せず**に耳を傾けよう（多様な人の意見を聞いてみよう）
- ②**時間**を守りましょう（時間になったらすぐに開始します）
- ③飲食時以外は、**マスクを着用**しましょう

ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

休憩タイム

【3月12日_対面】

武蔵野市 市民ワークショップ

聞いて 語って 未来をつくる

- 開始時刻（13:00）までしばらくお待ちください。
- 表示名を、**呼ばれたい「あだ名」**に変更をお願いします。表示名の最初に事前に案内済みの**番号**を入れてください。
(例)「〇番 まさ」、「△番 ゆき」
- 事前にお送りした資料をお手元にご準備ください。

ようこそ！参加の皆様へ

- ・ **ビデオON、マイクOFF（ミュート）**でご参加ください。途中グループワークがございます。その際は **マイクON** でご参加ください。
- ・ 通信環境が悪くなった場合は、ビデオをOFFにしたり、端末（Wi-Fi、パソコンなど）を再起動してください。Zoomから落ちてしまった時は同じURLから再度アクセスしてください。
- ・ 通信不良などのトラブルや連絡したいことがありましたら、Zoomのチャットで「事務局」宛にお知らせください。
- ・ 本日のワークショップは、13:00～17:00までです。途中2回ほど10分程度の休憩を挟む予定です。飲み物やお菓子などをお手元にご用意の上、ご参加ください。

お知らせ

本日は皆様のご意見を記録し、報告書としてまとめるために**録画**いたします。（個人情報等は特定されません）以下のメッセージが出ますので「**了解**」ボタンを押してください。



3. 機器の操作（自分の名前を変更する）

当日は、グループに分かれるため、予めご案内している表示名に沿って名前を変更していただきます。

- ①画面下部のメニューから「参加者」をクリック
- ②自分の名前にカーソルを合わせる
- ③「詳細」をクリック
- ④「名前の変更」をクリック
- ⑤表示させる名前を入力
「▲番〇〇〇〇」
- ⑥「名前の変更」をクリック

武蔵野市 市民ワークショップ

聞いて 語って 未来をつくる

●開始時刻（13:00）までしばらくお待ちください。
●表示名を、呼ばれたい「あだ名」に変更をお願いします。
表示名の最初に事前に案内済みの番号を入れてください。
（例）「〇番 まさ」、「△番 ゆき」
●事前にお送りした資料をお手元にご準備ください。

ようこそ！

- ・本日は市民ワークショップにご参加ありがとうございます！
- ・このワークショップの司会・進行は武蔵野市在住のファシリテーターが行います。

聞いて 語って 未来をつくる

武蔵野市では、今後の市の未来をつくる重要な計画づくりを進めています。このたび計画づくりにあたって、特に議論すべき課題や論点をまとめた「討議要綱」を作成しましたので、みなさまのご意見を伺えたいです。

リアクションを使ってみよう

「今の気持ちに合うボタンを探そう」

- ①「リアクション」を選択
- ②アイコンを選択
- ③自分の画面の左上に表示される

本日のスケジュール

- ・13:00 当日の進め方の説明
市役所よりワークショップの概要説明
- ・13:30 グループワーク（前半）
- ・14:50 休憩（時間が前後する可能性があります）
- ・15:05 グループワーク（後半）
- ・15:45 休憩（時間が前後する可能性があります）
- ・15:55 各グループ発表・感想共有
- ・17:00 終了予定

Zoomが突然終了した場合

事前配布資料「当日の参加方法」の2ページに戻って、「招待メール」に記載されたURLをクリックしてご自身でもう一度ご参加ください。
（焦らなくて大丈夫です）

◆その他の対処法

- ・端末（Wi-Fi、パソコン、タブレットなど）を再起動した上で、もう一度招待メールに記載されたURLをクリックして参加してください。
- ・通信状態が不安定な方は、Wi-Fiを端末の近くにご確認ください。
- ・Zoomのアプリは最新になっていますか？Zoomアプリで入室されている方はアップデートして再度入室してください。
- ・通信不良などのトラブルや連絡したいことがありましたらZoomのチャットで「事務局」宛にお知らせください。

参加者特典

・武蔵野プレミアム詰め合わせセットを事前にご自宅に送付しております。ぜひワークショップ中にお召し上がりください。

※写真は一例です

（4）投影資料 ア.武蔵野市資料

グループワークに入ったら

- ・グループには皆さんがお話をしやすいように「グループのファシリテーター」がいます。
- ・ファシリテーターの司会・進行に沿って意見交換をしていきます。
- ・グループではまず自己紹介から始めます。
- ・グループごとに話し合う「テーマ」が異なります。テーマについて市職員から説明があります。
- ・皆さんのご意見は「記録係」が記録をしています。
- ・グループには、市職員や全体ファシリテーターが途中で参加する可能性がありますので、その旨、事前にご了承ください。

グループワークで話すこと

自己紹介からスタートします。以下の点について全員にお話しいただきます。

- ①お名前orあだ名
- ②住んでいる地区
- ③今回の参加動機
- ④↓どれか1つ

- 武蔵野市の好きな場所
- 最近あった嬉しい出来事
- 好きな動物とその理由
- 生まれ変わったら何になりたい？

グループワークのテーマ

グループ	テーマ
A	健康・福祉分野の主な課題や取組み
B	子ども・教育分野の主な課題や取組み
C	平和・文化・市民生活分野の主な課題や取組み
D	緑・環境分野の主な課題や取組み
E	都市基盤分野の主な課題や取組み
F	行財政分野の主な課題や取組み

グループワークで話すこと

①各テーマに関する市職員の説明を聞いて感じたことを意見入力フォームに入力し、共有します。

（例）「〇〇の取組みは期待できる」「〇〇が不安だ」など

グループワークで話すこと

②miro（ホワイトボードアプリ）に貼り出し整理します。

グループワークで話すこと

③より良くするためにどのような取り組みが必要か考えます。

（例）「〇〇を行った方がよい」「△△のような工夫ができないか」「〇〇をすればよくなるはず」など

グループ毎に発表します

④どのような議論があったかグループ毎に発表します。

- ◆発表いただきたいこと
- ・担当した分野について
- ・どのような議論があったか
- ・特にどの項目が参加者の関心を集めていたか

グループワークでは

対面のワークショップであれば付箋に書くことが多いですが、本日はオンラインなので

- 皆さんのご意見は「**意見入力フォーム**」に書き込んでいただきます。
→自動で付箋になります！
- やり方がわからない場合は、グループファシリテーターがフォローします。
- 意見入力フォームへの入力に難しい方は、記録係が代わりに付箋へ入力します！
(お気軽にお伝えください)

意見入力フォームについて

【パソコンやタブレットの場合】
・ファシリテーターが「意見入力フォームをチャットに投稿しました」と案内したら「**ZOOMのチャット**」を確認します。



意見入力フォームについて

【スマートフォンの場合】「意見入力フォームをチャットに投稿しました」と案内したら「**ZOOMのメニュー**」を確認します。

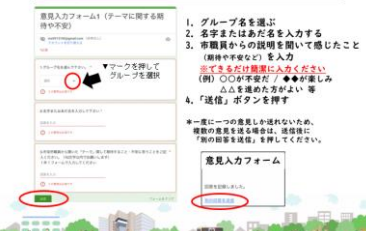


意見入力フォームについて

【パソコン・タブレット・スマートフォン共通】
チャット（メッセージ）が見えたら、案内された「**URL（英文字）**」をクリックしてください。



意見入力フォームについて



意見入力フォームについて

意見入力フォームに入力した内容は自動的に付箋になりますが、文字が多いと見にくいいため、**20文字程度**の言葉で入力してください。



意見入力フォームを使ってみよう

この後のグループワークでは、
「**意見入力フォーム**」に皆さんの
意見を入力していただく予定です。
試しにやってみましょう！

意見入力フォームについて

【パソコンやタブレットの場合】
・ファシリテーターが「意見入力フォームをチャットに投稿しました」と案内したら「**ZOOMのチャット**」を確認します。



意見入力フォームについて

【スマートフォンの場合】「意見入力フォームをチャットに投稿しました」と案内したら「**ZOOMのメニュー**」を確認します。



意見入力フォームについて

【パソコン・タブレット・スマートフォン共通】
チャット（メッセージ）が見えたら、案内された「**URL（英文字）**」をクリックしてください。



意見入力フォームについて



意見入力フォームについて

結果を見てみましょう！！

皆さんの今の気分は？

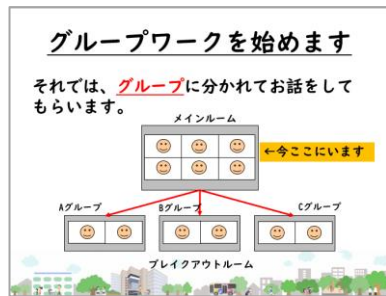
今日のポイント

- ・武蔵野市の未来をつくる重要な計画づくりの各テーマについて広く意見をお聞かせください。
- ・そして「まちをより良くするためにどのような取り組みができるか」一緒に考えましょう！

5つの約束

オンラインワークショップを円滑に進めていくため、
5つの約束をご案内させていただきます。

- ①ワークショップ中は**ビデオON**にしよう
 - ②リアクションは**大きく**（オンラインでは大きくうなずきましょう）
 - ③人の話は**否定せず**に耳を傾けよう（多様な人の意見を聞いてみよう）
 - ④休憩中は**パソコンから離れて**しっかり休もう
 - ⑤**時間**を守りましょう（時間になったらすぐに開始します）
- ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



ウ. 討議要綱に関する分野別課題

■健康・福祉分野



■健康・福祉分野って何??

- 「健康」はともかく「福祉」って何??
- 第六期長期計画
一人ひとりの命を守り、誰もが住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らし続けられることを目的とした分野
- ⇒まちぐるみの支え合い



■まちぐるみの支え合いを実現するための取組み (討議要綱P19~20)

楽しく! 元気に! 暮らす!!

健康長寿のまち武蔵野推進月間

心のバリアフリー

・食育事業の推進 ・互助・共助の取組みの推進 など

■生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化 (討議要綱P20)

保健センター増築及び大規模改修

医療連携訓練

・在宅医療と介護の連携 など

■安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実 (討議要綱P20~22)

福祉総合相談窓口

認知症サポーター ステップアップ講座

・医療的ケア見守りコーディネーターの設置 ・生活困窮者への支援
・権利擁護と成年後見制度の利用促進 ・自殺防止 など

■福祉人材の確保と育成に向けた取組み (討議要綱P22)

地域から介護人材を見出す

地域の介護人材を育てる

福祉専門職の採用検討

あなただけのまちを
市民の力で

地域包括ケア人材育成センター

・潜在的な地域福祉活動の担い手の発掘 など

■新しい福祉サービスの整備 (討議要綱P22)

施設の大規模改修・建て替え

複合ニーズに対応した福祉サービス

・社会経済情勢の変化に伴う、財政援助出資団体の統合の再検討など

■子ども・教育分野



■子ども・教育分野って何??

子ども自身に関すること
子育てに関すること
学校教育に関すること

【前提】
・子どもは基本的人権を持つ存在。子どもの最善の利益を第一に考える。
【目的】
・子ども一人ひとりの個性が尊重された成長・発達ができるよう支援する。
・誰もが安心して子どもを産み育てられる環境をつくる。
・子どもと子育てを応援するまちを実現する。
・子どもの「生きる力」を育む。



■子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり（討議要綱P23、24）



- ・子どもの最善の利益を尊重する
- ・切れ目のない相談支援体制（複合施設、福祉専門職の採用）
- ・多摩地域に児童相談所が新設
- ・ケアラーへの継続的な支援体制

子どもの権利を保障する

■安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援（討議要綱P24）

多様な子育て支援ニーズ



小学生的放課後施策



- ・様々なライフステージで地域の力を活かした子育て支援
- ・一時保育事業の拡充
- ・保育士の確保・定着の促進
- ・特別な支援を必要とする子ども、医療的ケア児の保育

■子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実（討議要綱P24、25）



【子ども・子育て支援関係情報サイト】 <https://musashino-kodomo.com/>

■子どもの「生きる力」を育む（討議要綱P25）



不登校対策の推進



- ・青少年健全育成事業の充実
- ・学習者用コンピュータの活用
- ・インクルーシブ教育システム
- ・学校図書館のあり方の検討
- ・多様性を生かし、市民性を育む

■教育環境の充実と学校施設の整備（討議要綱P25、26）

教職員の働き方の追求



学校改革の着実な推進



- ・学校・家庭・地域の協働に関する試行
- ・学校教育における食育推進、安定的な給食提供
- ・部活動のあり方の検討

■平和・文化・市民生活分野

平和・文化・市民生活分野

■平和・文化・市民生活分野って何??

平和: 平和啓発事業、戦争体験の伝承
戦争関連資料の保存など

文化: 武蔵野公会堂や芸術劇場などの文化施設の今後
都市・国際交流事業の推進

市民生活: 安全・安心なまちづくり
コミュニティのあり方



平和・文化・市民生活分野の
課題・論点

■多様性を認め合い尊重し合う
平和な社会の構築

平和の集い



- ・パートナーシップ制度の開始
- ・平和啓発事業の実施
- ・戦争関連資料の保存
- ・多文化共生推進プランの策定

■災害への備えの拡充

防災フェスタ



総合防災訓練



- ・減災に向けたまちづくりの推進
- ・流域における治水対策
- ・災害に備えた対応や防災体制の確保

■安全・安心なまちづくり

市民安全パトロール隊による
通学路の見守り



- ・「見えるパトロール」
「地域の防犯力向上」
⇒ 体感治安の向上
- ・警察等の関係機関と連携した
特殊詐欺への対応
- ・新型コロナウイルスに対する体制

■地域社会と市民活動の活性化

武蔵野プレイス市民活動フロア



- ・多くの団体が抱える
担い手不足 課題
- ・他団体等との連携
- ・コミュニティセンターのバリアフリー化

■豊かで多様な文化の醸成

青少年の海外派遣事業



- ・海外交流事業による多様な文化への理解促進
- ・友好都市の魅力発信
- ・文化施設の整備や今後のあり方の検討
- ・武蔵野文化生涯学習事業団との連携

■多様な学びや運動・スポーツ活動の推進

市営プール



武蔵野ふるさと歴史館「企画展」



- ・全天候型の屋内プールの充実の検討
- ・読書環境の提供、読書支援に向けた取組み（図書館）
- ・文化財の保存や閲覧、講座や企画展の開催（ふるさと歴史館）



■緑・環境分野



■都市基盤分野



個性あふれる魅力的な地域のまちづくり

計画的な土地利用の誘導

魅力的な景観の保全と展開

・暮らしやすい生活圏をつくる
・無電柱化による良好な景観
・地域の実情に合ったまちづくり
・まちづくり条例に基づく開発調整

将来にわたり持続性ある都市基盤づくり

①道路

②下水道

③水道

・安全・安心なサービス
・計画的・効率的に管理
・安定経営

誰もが利用しやすい交通環境の整備

安全・安心な交通環境整備の推進

交通環境の改善に向けた自転車駐車場の検討

市民の移動手段の確保

・自転車事故
・駐輪場の配置
・ムーバスの料金体系

安全で快適な道路ネットワークの構築

安全・安心に通行するための道路空間等整備の推進

外理地下本線及び外理の2地上部街路への対応

・女子大通り、五日市街道、井ノ路通りといった歩行者空間の狭い都道は、都に事業を働きかけます

安心して心地よく住み続けられる住環境づくり

安心して心地よく住み続けられる住環境づくり

・空き住宅等の対応
・福祉や関連団体との連携
・市営住宅等の整備や管理

活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり

①吉祥寺駅周辺

②三蔵駅周辺

③武蔵野駅周辺

住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街

エリア等のまちづくり

行財政分野

行財政分野

行財政分野って何？

市の「財産（＝資源）」を活用して、「武蔵野市」というまちを「経営（＝運営）」していくことを目的とした分野

財産（＝資源）とは

税金、手数料等（カネ）

市民、地域人材、市職員等（ヒト）

公共施設や市の所有する土地等（モノ）

市が保有する情報等（情報）

行財政分野の課題・論点

市民参加と連携・協働の推進（ヒト）

半世紀以上続く、武蔵野市伝統の「市民参加」によるまちづくりをこれからも続けていくために

ICTを用いた市民参加

若い世代の市民参加

効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション（ヒト）（情報）

効果的な情報発信

市の取組みを「知らなかった」という現実

・「伝える」⇒「伝わる」へ
・行政用語、市役所「らしさ」からの脱却
・ニーズの把握（情報の受け手）
・市の魅力を発信

公共施設等の再構築と市有地の有効活用（モノ）

老朽化する公共施設の更新

市有地の利活用

・学校、体育施設（総合体育館、プール等）、文化施設（芸術劇場、公会堂等）などの老朽化した施設の計画的な更新
・市が保有する土地の有効活用

社会の変化に対応していく行財政運営（カネ）（情報）

健全な財政運営

DX*の推進

・コロナの変化に応じた行財政運営
・物価高騰や施設の改修等を踏まえた財政運営
・行政手続きの効率化（オンライン申請、書かない窓口等）

多様な人材の確保・育成と組織の活性化（ヒト）

人材の確保と育成

職員の働き方改革

・技術職などの専門職の人材確保・育成
・職員の超過勤務削減（働き方改革）

【3月5日_対面】

④ 本誌のホームページの**読者の皆様へ**の欄に掲載されたこと、**印象に残ったこと**、**思ったこと**、**お礼の言葉**等をお聞かせください。

ご返信は次回コードからもご返信いただけます。
 紙のシートから返信したい方は郵送も、お手紙は紙（封）までご郵送ください。





[illegible]

イ.運営メンバー向け

運営メンバー向けアンケート

ご協力本当にありがとうございました！今後のワークショップの改善にさせていただきますので、アンケートへの回答をお願いします。*がついているものは必須回答項目となります。締め切り3/15(水)

 s.re.ta0825@gmail.com (共有なし)
[アカウントを切り替える](#)



*必須

1. 参加日時 *

- ☐ 2023/3/5のみ
- ☐ 2023/3/12のみ
- ☐ 両日

2. 役割 *

- ☐ 全体ファシリテーター
- ☐ グループファシリテーター
- ☐ 全体ファシリテーターとグループファシリテーターを両方
- ☐ 記録係

3. 今回のワークショップに運営側として参加してよかったですか *

- ☐ とてもよかった
- ☐ よかった
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ よくなかった

4. 3の回答の理由を教えてください（自由回答） *

回答を入力

5.同じワークショップを対面とオンラインで行いましたが、運営面でよかったと思うところがあれば教えてください

回答を入力

6. 今回のワークショップの運営面での改善点があれば教えてください。

回答を入力

7. 今回のワークショップの企画（プログラム、テーマ設定、事前送付資料、事前打合せなど）について、良かった点や改善点など、ご感想・ご意見をお聞かせください。

回答を入力

8. 新たなファシリテーターの養成など、今後の市民参加についてのアドバイスや考えがあれば教えてください。

回答を入力

9. 今後、同じような機会があれば参加したいと思いますか。 *

- ☐ 参加したい
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ 参加したくない

10. その他、ご意見等がございましたらご自由にお書きください

回答を入力

送信

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

～聞いて語って未来をつくる～
武蔵野市第六期長期計画・調整計画市民ワークショップ
(令和5年3月5日・12日開催)

令和5年5月発行

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28
電話 0422-60-1801 (直通)